

高等専門学校機関別認証評価

自己評価書

平成 30 年 6 月

阿南工業高等専門学校

- ・ 自己点検・評価結果欄の各項目のチェック欄で「・・・していない」等にチェック（■）した場合は、自己点検・評価の根拠資料・説明等欄に、その理由等を記述すること。
- ・ （該当する選択肢にチェック■する。）と記載のある項目は、該当する箇所のみチェックを入れること。選択肢全てにチェックを入れる必要はない。
- ・ 自己点検・評価の根拠資料・説明等欄の記号は次のとおり。
 - ◇：明示している根拠資料については、該当資料名、資料番号、自己評価書「根拠資料編」での掲載ページを記入すること。資料は、該当箇所がわかるように（ページや行の明示、下線や囲み線を引くなど）して、まとめて自己評価書「根拠資料編」として作成すること。資料を、ウェブサイト等で公表している場合には、ウェブサイト公表資料と付した上で、該当資料名、資料番号を記入し、そのリンク先を欄中に貼付すること。この場合は、自己評価書「根拠資料編」にリンクを貼ったウェブサイト公表資料の一覧を添付すること。
 - ◆：資料等を基に自己点検・評価の項目に係る状況を記述すること。（取組や活動の内容等の客観的事実について具体的に記述し、その状況についての分析結果をその結果を導いた理由とともに記述。）記述は、できるだけ簡潔にし、分量は、200 字以下を目安とすること。なお、「・・・場合は、」とあるものについては、該当する場合のみ記述すること。また、根拠資料の資料名、資料番号、自己評価書「根拠資料編」での掲載ページを記入すること。
- ・ 関係法令の略は次のとおり。

(法)学校教育法、(施)学校教育法施行規則、(設)高等専門学校設置基準

I 高等専門学校の現況及び特徴

(1) 現況	
1. 高等専門学校名	阿南工業高等専門学校
2. 所在地	徳島県阿南市
3. 学科等の構成	準学士課程：創造技術工学 専攻科課程：構造設計工学専攻， 電気・制御システム工学専攻
4. 認証評価以外の第三者評価等の状況	特例適用専攻科（専攻名：構造設計工学専攻， 電気・制御システム工学専攻） JABEE認定プログラム（専攻名：構造設計工学専攻， 電気・制御システム工学専攻） その他（なし）
5. 学生数及び教員数 （評価実施年度の5月1日現在）	学生数：852人 教員数：専任教員66人 助手数：0人
(2) 特徴	
<p>1. 沿革</p> <p>阿南工業高等専門学校（以下、「本校」という。）は、昭和38年、機械工学科及び電気工学科の2学科により開校した。昭和42年には土木工学科を設置、その後のいくつかの改組を経て、平成14年には機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、建設システム工学科の4学科体制となった。さらに平成26年には地元企業の強い要望もあり、創造技術工学科の下に機械コース、電気コース、情報コース、建設コース、化学コースを配置した1学科5コース体制（以下、「準学士課程」もしくは「本科」という。）へと改組を行った。また、平成8年には専攻科（構造設計工学専攻及び電気・制御システム工学専攻）を設置した。</p> <p>平成14年に、本科4、5年次及び専攻科2年間の4年間にわたる「創造技術システム工学」教育プログラムを策定した。そして、平成16年、日本技術者教育認定機構（JABEE）により、工学（融合複合・新領域）関連分野において、同教育プログラムがJABEE認定基準に適合していると認められ、その後、平成21年、27年に継続認定された。また、平成27年には特例適用専攻科となり、修了生はこの特例の適用の下で機械工学、土木工学、電気電子工学の学士の学位が授与されることとなった。</p> <p>2. 理念及び本校の特徴</p> <p>本校は、徳島県や地域産業界からの強い要望に応え、実践的技術者を育成する高等教育機関として設立された。その後、産業構造や社会情勢の変化に対応するための改組を繰り返し、平成26年には地域からの要望により化学コースを新設し、学科の大括り化により1学科5コース制に改組した。</p> <p>この再編は、最近の科学技術分野における融合化・複合化、さらに情報化社会の著しい発展に対応するために行ったものである。その理念は、自身の専門分野だけではなく幅広い工学の知識を身に付け、コミュニケーション能力、情報処理・ICT利用能力などを背景に、将来、創造的なものづくりや課題解決ができ、国際的に活躍できる技術者の養成である。これに基づき、本校の教育目標は「核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者」を育成することである。本科の1学科5コース制の特色は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次では共通のカリキュラムによって一般科目と各コースの基礎的な内容の専門科目を学び、2年次でコースの再選択を行う希望コースの再選択制度を実施 ・チームで課題を解決する「ものづくり工学」を1年次に、企業等での就業を通して技術的視野を広げ、複合融合知識の重要性を認識させる「校外実習」や、異なる専門コースの学生とともに融合複合知識の結実を求める「共同教育」 	

を4年次に専門共通科目として配当して、一元的な管理を実施

- ・情報処理に関する基礎的知識や情報マナーを学ぶ「情報リテラシー」及び、CADを学ぶ「デザイン基礎」を1年次の専門共通科目として配当し、2年次以降は各コースの教育内容に即して情報処理・プログラミング教育を実施
 - ・一般科目における語学教育として、必修科目18単位、さらに選択科目4単位の英語科目に加え、ドイツ語と中国語から1つを選んで受講できる「第2外国語入門」を新設
 - ・4年次に、機械、建設、化学コースの学生は「電磁気学」、電気、機械コースの学生は「熱力学」を履修でき、5年次では他のコースの定められた専門科目を最大6単位履修できる「副専門制」を導入
- 専攻科は「創造技術システム工学」教育プログラムに基づき、本科に比べより専門的な知識と技術を学ぶ教育課程である。その特色は次のとおりである。

- ・両専攻とも定員は8名であり、少人数教育によるきめ細かな教育研究指導を実施
- ・1年次の後期は12月から始まるため、8月中旬より最長3ヶ月半のインターンシップを実施
- ・海外協定校へ、インターンシップ期間を利用して留学が可能
- ・修了には研究成果を論文にまとめ、学会等で発表することを必要としているため、研究の過程を一通り学ぶことが可能

地域社会との連携では、地域連携・テクノセンターを置き、共同研究や受託研究などの産学連携活動を推進している。また、平成7年に阿南工業高等専門学校を支援する企業等の会として発足した「ACTフェローシップ」と連携し、講演会や研究報告会の開催、学内研究者との交流会などを行い、地域企業との連携強化を行っている。

国際交流については、社会の一層のグローバル化に対応し、異なる文化を持つ人々とともに仕事ができる真の国際人の養成を行うため、平成21年に国際交流室を設置した。国際交流室では、海外の大学等との学生相互派遣などに関する協定の締結を積極的に推進し、これまでに海外の14機関（アメリカ、ドイツ、韓国、ベトナム、インドネシア、台湾、ニュージーランド）と締結した。さらに、本校学生の海外語学研修のサポート、海外からの留学生の受入・支援プログラム等の充実も図っている。

II 目的

1. 使命

本校は、校訓「真理・創造・礼節」を核に、この校訓を尊ぶ学生を育成することを使命としている。すなわち、本校教育により、「学生は、将来、有為な技術者として崇高な矜持と旺盛な責任感をもち、国家社会のために貢献しうる人物となるため、① 真理を愛し、科学的叡智の円満な発達を心掛ける。② 学業に専念するとともに規律を重んじ、礼儀を厳正にする。③ 勤労に親しみ、強固な意志と頑健な身体を鍛錬する。」ことを達成することを目指している。

(「高専生活のてびき」見返し)

2. 目的

2. 1 学校の目的

本校は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づいて深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

(阿南工業高等専門学校学則第 1 条)

2. 2 準学士課程の目的

学科における教育目的は、次のとおりとする。

創造技術工学科は、社会人・職業人として必要な一般教養と国際化対応能力、工学分野のものづくりに共通して必要な基礎的知識・技術と情報処理能力、核となる分野に関する知識・技術と他分野の専門知識を教授し、様々な産業分野で幅広い課題について解決あるいは対応できる人材の育成を目的とする。各コースの核となる知識・技術とは次のとおりとする。

- (1) 機械コースは、機械の力学、加工、材料及び制御に関する機械工学の知識と技術、機械システムの設計と製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (2) 電気コースは、電気エネルギーから電子情報通信に及ぶ電気電子工学の知識と技術、電気・電子回路の設計・製作・解析で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (3) 情報コースは、コンピュータを利用して制御を行うための計測・制御・情報工学の知識と技術、情報通信システムおよび制御システムの調査・分析・設計で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (4) 建設コースは、環境や情報の分野を融合した建設工学の知識と技術、構造物の建設や環境保全で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (5) 化学コースは、無機化学から有機化学に及ぶ材料や化学工学の知識と技術、材料開発、化学プラント開発、化学薬品製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(阿南工業高等専門学校学則第 7 条の 2)

2. 3 専攻科課程の目的

専攻科は、学科における教育の基礎の上に、更に高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的とする。専攻科課程を通して、核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践論を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者の育成を図る。各専攻の核となる専門的知識と技術は、次のとおりとする。

- (1) 構造設計工学専攻は、機械工学、建設工学に関する研究課題を解決するために必要な力学、加工、材料、制御、環境、構造物の設計などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための技術とする。
- (2) 電気・制御システム工学専攻は、電気電子工学、情報工学に関する研究課題を解決するために必要な電気回路、デジタル回路、ロボット制御、計測、プログラミングなどの知識と情報収集、整理、研究遂行のための技術とする。

(阿南工業高等専門学校学則第 29 条)

3. 阿南工業高等専門学校の教育目標

3. 1 阿南工業高等専門学校の教育目標（本科）

阿南工業高等専門学校が育成をめざす技術者像

「核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者」

このような技術者の育成をめざして、以下の5項目（A）～（E）を本校の教育目標とする。また、それらを具体的に説明したものが（A）－1～（E）－3である。

（A）国際人としての教養を高め、人間社会や自然環境に対する責任感及び倫理観について考えられる技術者

（A）－1：世界的視野から日本の文化、社会並びに他国の文化、社会を複眼的にとらえられる。

（A）－2：人間社会に対する技術者としての責任を自覚し、自己の倫理観を深められる。

（A）－3：自然環境に対する認識を深められる。

（B）社会が要求している問題を見出し、数学・自然科学・情報技術を利用した問題解決に取り組める技術者

（B）－1：校外実習などを通じて社会が要求している問題を見出せる。

（B）－2：線形代数、微積分、微分方程式などに関する知識を用いた問題解決に取り組める。

（B）－3：力学、電磁気学などの物理や化学に関する知識を用いた問題解決に取り組める。

（B）－4：情報技術に関する知識を運用できる。

（C）日本語で論理的に記述・討論する経験を積み、専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ、口頭発表ができる技術者

（C）－1：日本語で科学技術論文を作成できる。

（C）－2：自分の研究成果あるいは学習内容を日本語で聴講者にわかりやすく口頭発表でき、論理的な討論ができる。

（C）－3：英語による基本的なコミュニケーションができる。

（D）継続して専門技術や知識を学習する習慣をみがき、複合的な技術開発を進められる能力を高めた技術者

（D）－1：設計・システム系、情報・論理系、材料・バイオ系、力学系を含む工学の基礎となる学問分野について、自主的かつ継続的に学習できる。

（D）－2：専門分野における工学的問題の解決を通じて、その専門技術と知識の研鑽を継続的に積み上げられる。

（D）－3：みずからの専門分野において、複合的な視野で問題点を把握できる。

（D）－4：技術開発を進めるに際して、安全、環境に対する認識を深められる。

（E）「ものづくり」を重視し、技術的構想や創造的思考を実現させるためのデザイン能力を高めた技術者

（E）－1：与えられた製作課題をデザイン能力を活かして設計図等として表現できる。

（E）－2：与えられた製作課題を計画的に製作できる。

（E）－3：多様な条件の下で、技術的構想や創造的思考を卒業研究としてまとめられる。

（「高専生活のてびき」前付）

3. 2 阿南工業高等専門学校の教育到達目標（専攻科・JABEE 共通）

阿南工業高等専門学校が育成をめざす技術者像

「核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者」

このような技術者の育成をめざして、以下の5項目（A）～（E）を本校の教育到達目標とする。また、それらを具体的に説明したものが（A）－1～（E）－3である。

（A）国際人としての教養を身につけ、人間社会や自然環境に対して責任感及び倫理観をもつ技術者

- (A) - 1 : 世界的視野から日本の文化, 社会並びに他国の文化, 社会を複眼的にとらえて, 両者のあるべき関係について説明できる。
- (A) - 2 : 人間社会に対する技術者としての責任を自覚し, 自己の倫理観を説明できる。
- (A) - 3 : 自然環境を考慮した技術開発を進めるための問題点を説明できる。
- (B) 社会が要求している問題を見出し, 数学・自然科学・情報技術を利用しながら問題解決を計画的に遂行できる技術者
- (B) - 1 : インターンシップ, 工学セミナーなどを通じて社会が要求している問題を見出せる。
- (B) - 2 : 線形代数, 解析学などに関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (B) - 3 : 力学, 電磁気学, 熱力学などの物理や化学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (B) - 4 : 情報技術に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (C) 日本語で論理的に記述・討論ができ, 専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ, 表現力豊かに口頭発表ができる技術者
- (C) - 1 : 日本語で科学技術論文を作成できる。
- (C) - 2 : 自分の研究成果を日本語で聴講者にわかりやすく口頭発表でき, 論理的な討論できる。
- (C) - 3 : 英語によるコミュニケーションができ, 専門分野において英語による口頭発表ができる。
- (D) 継続して専門技術や知識を学習する習慣を身につけ, 複合的な技術開発を進められる能力をもった技術者
- (D) - 1 : 設計・システム系, 情報論理系, 材料バイオ系, 力学系を含む工学の基礎となる幅広い学問分野について, 自主的かつ継続的に学習できる。
- (D) - 2 : 専門分野における工学的問題の解決を通じて, その専門技術と知識の統合及び研鑽を継続的に積み上げられる。
- (D) - 3 : 他の専門分野の知識も身につけ, 複合的な視野で問題点を把握できる。
- (D) - 4 : 技術開発を進めるに際して, 安全, 環境について配慮すべき事柄を認識し, 説明できる。
- (E) 「ものづくり」を重視し, 技術的構想や創造的思考を実現させるためのデザイン能力を有する技術者
- (E) - 1 : 自ら設定した製作課題をデザイン能力を活かして設計図等として表現できる。
- (E) - 2 : 自ら設定した製作課題を計画的に製作できる。
- (E) - 3 : 工学知識や技術を統合し, 技術的構想や創造的思考を特別研究としてまとめられる。

(「高専生活のてびき」前付)

基準 1 教育の内部質保証システム

<p>評価の視点</p> <p>【重点評価項目】</p> <p>1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第 109 条第 1 項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。</p>	
<p>【重点評価項目】</p> <p>観点 1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 教育の活動を中心とした学校の教育研究活動の総合的な状況についての自己点検・評価の実施方針、実施体制、実施項目を分析するための観点であり、重点評価項目として位置付けている。（改善への取組については 1-1-④ で分析する。）</p> <p>○ 定期的に行うということは、7 年以内ごとに実施する大学改革支援・学位授与機構（以下、「機構」という。）の機関別認証評価に対応した自己点検・評価以外に、計画的にモニタリング※や自己点検・評価を実施していることについて分析すること。</p> <p>※ 「モニタリング」として、教育プログラムの実施者がプログラムの現状について、定量的及び定性的なデータや情報を定期的かつ体系的に把握・追跡し、継続的に情報共有を行う作業をいう。</p> <p>○ 実施方針とは、趣旨、実施時期、実施方法、評価結果の外部検証等が定められている学校内の規定を想定している。</p> <p>○ 実施体制には、委員会や担当部署のほか、自己点検・評価における責任の所在を明記していること。なお、実施体制の「組織図」等があれば提示すること。</p> <p>○ 自己点検・評価の基準・項目には、機構の高等専門学校評価基準を活用することや、必要に応じて独自の評価の項目を設定している場合も想定される。</p> <p>○ 実施体制、評価の基準・項目等は、実施方針の中で一体的に策定している場合も想定される。</p>	
関係法令	(法)第 109 条 (施)第 166 条 (設)第 2 条
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇実施の方針が明示されている規程等</p> <p>資料 1-1-①- (1) - 1 (P1)</p> <p>「教育の内部質保証の方針を明記した資料」</p>
<p>(2) (1) の方針において、自己点検・評価の実施体制（委員会等）を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇実施体制等がわかる資料（組織構成図、関連規程等）</p> <p>資料 1-1-①- (2) - 1 (P3)</p> <p>「教育の内部質保証における PDCA サイクルを示す資料」</p>

	<p>資料 1-1-①-(2)-2 (P4) 「運営委員会が教育研究等の重要事項を審議する委員会であることを示す資料」</p> <p>資料 1-1-①-(2)-3 (P5) 「教育点検システムの活動状況について評価する部会の要項を示す資料」</p> <p>資料 1-1-①-(2)-4 (P6) 「点検・評価委員会の審議事項について示す資料」</p> <p>資料 1-1-①-(2)-5 (P7) 「外部有識者として点検・評価を行い、助言を行う参与会の規則を示す資料」</p> <p>資料 1-1-①-(2)-6 (P8) 「阿南工業高等専門学校の組織を示す図」</p>
<p>(3) (1)の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等を設定しているか。</p> <p>■設定している □設定していない</p>	<p>◇自己点検・評価の基準・項目等がわかる資料（関連規程等）</p> <p>資料 1-1-①-(3)-1 (P9) 「自己点検・評価の基準、項目、必要資料、担当部署、責任者、実施間隔を示す資料」</p>
<p>【重点評価項目】</p> <p>観点 1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 根拠となるデータや資料等とは、教育の状況について自己点検・評価を行うに当たり必要な教育活動に関する基礎的な資料のことで、本評価書の右欄に明示された各種資料を想定している。自己点検・評価に活用できるように体系的に整理しているかを分析すること。より体系的に実施するため、データブック等の策定や、IR（インスティテューショナル・リサーチ）活動として実施している場合も考えられる。</p> <p>○ 定期的に行うということは、7年以内ごとに実施する大学改革支援・学位授与機構（以下、「機構」という。）の機関別認証評価に対応した自己点検・評価以外に、計画的にモニタリング※や自己点検・評価を実施していることについて分析すること。</p> <p>※ 「モニタリング」として、教育プログラムの実施者がプログラムの現状について、定量的及び定性的なデータや情報を定期的かつ体系的に把握・追跡し、継続的に情報共有を行う作業をいう。（1-1-①の留意点の再掲。）</p> <p>○ 設定した自己点検・評価の基準・項目に基づいて、点検（分析）・評価されていること。（1-1-①(3)と関連。）</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第109条 (施)第166条 (設)第2条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>

<p>(1) 根拠となるデータや資料等を定期的に収集・蓄積しているか。</p> <p>■収集・蓄積している</p> <p>□収集・蓄積していない</p>	<p>◇収集・蓄積状況がわかる資料</p> <p>資料 1-1-②-(1)-1 (P25)</p> <p>「内部質保証の方針の中で、根拠資料の蓄積を明記していることを示す資料」</p> <p>資料 1-1-②-(1)-2 (P26)</p> <p>「根拠資料の収集・蓄積状況を示す資料」</p> <p>資料 1-1-②-(1)-3 (P27)</p> <p>「成績資料の保管状況を示す資料」</p> <p>資料 1-1-②-(1)-4 (P28)</p> <p>「成績資料の保管方法を周知していることを示す資料」</p> <p>◇担当組織、責任体制がわかる資料</p> <p>資料 1-1-②-(1)-5 (P9)</p> <p>「自己点検・評価の基準、項目、必要資料、担当部署、責任者、実施間隔を示す資料」(再掲)</p>
<p>(2) 自己点検・評価を定期的に実施しているか。</p> <p>■実施している</p> <p>□実施していない</p>	<p>◇自己点検・評価報告書等、実施状況がわかる資料(何年ごとに実施しているかがわかる資料も含む。)</p> <p>◆何年ごとに実施しているかを明確にしつつ、現在の実施頻度が適切かどうか、データや資料を活用して行われているかについて、資料を基に記述する。</p> <p>資料 1-1-②-(2)-1 (P29)</p> <p>「自己点検・評価報告書の作成時期を示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/introduction/information-draft/</p> <p>資料 1-1-②-(2)-2 (P30)</p> <p>「平成 22 年 3 月発行の自己点検・評価報告書の点検内容を示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka_H22.3.pdf</p> <p>資料 1-1-②-(2)-3 (P31)</p> <p>「平成 26 年 11 月発行の自己点検・評価報告書の点検内容を示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka_H26.11.pdf</p> <p>資料 1-1-②-(2)-4 (P32)</p> <p>「内部質保証の方針の中に、PDCA サイクルが明記されていることを示す資料」</p> <p>資料 1-1-②-(2)-5 (P33)</p> <p>「内部質保証の方針に従い、PDCA サイクル中の Check</p>

	<p>が実施されたことを示す資料」</p> <p>資料 1-1-②-(2)-6 (P34)</p> <p>「内部質保証の方針に従い、PDCA サイクル中の Action が検討されたことを示す資料」</p> <p>機関別認証評価は、平成 17 年度及び 23 年度に受審し、今年度が 3 回目である。その間、高専機構が 5 年ごとに定める中期計画に沿って本校も中期計画を策定し、その 5 年間の資料等を活用して、上で示した資料のとおり、第一期は平成 22 年、第二期は平成 26 年に「自己点検・評価報告書」を刊行した。さらに JABEE 審査を平成 16 年度、21 年度、27 年度に受審、認定専攻科の審査も改組等のため、平成 8 年度以降 5 回受審している。</p> <p>この度、学校教育法第 109 条第 1 項に規定される自己点検評価を行う頻度を 7 年間に 2 回と定めた(資料 1-1-②-(2)-7, P35「内部質保証の方針の中に、自己点検・評価報告の時期を明記していることを示す資料」)。他の機関による審査と併せると適切な頻度であると考えられる。なお、本校が策定した内部質保証の方針では、毎年の PDCA が自己点検・評価の基本となっており、上に示した資料のとおり実施している。</p>
<p>(3) (2)の結果を公表しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公表している</p> <p><input type="checkbox"/> 公表していない</p>	<p>◇公表状況がわかる資料(ウェブサイトのアドレスの明示でも可。)</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/introduction/information-draft/</p>
<p>【重点評価項目】</p>	
<p>観点 1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。</p>	
<p>【留意点】</p>	
<p>○ 学校の構成員及び学外関係者の意見を聴取する方法、内容、実施状況等についての分析を含め、聴取した意見がどのような形で教育の状況に関する自己点検・評価に反映されているか分析すること。</p> <p>○ 特に学外関係者からの意見聴取は、準備等に時間がかかることが想定されるため、計画的な実施が望まれる。</p> <p>○ 「第三者評価」とは、評価対象機関とは独立した第三者組織によって選定された評価者・評価項目等によって行われる評価を指す。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 自己点検・評価の実施に際して、次の各者の意見を反映するようになっているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教員 □職員 ■在学生 ■卒業（修了）時の学生 ■卒業（修了）から一定年数後の卒業（修了）生 ■保護者 ■就職・進学先関係者 	<p>◇各意見聴取の実施状況がわかる資料（実施方法、回数、意見内容の例、アンケート結果集計表等。）</p> <p>【教員】</p> <p>資料1-1-③-(1)-1 (P36) 「教員が役職者へ意見を述べるための『校内役職者アンケート』の様式を示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-2 (P37) 「年度末に実施した『校内役職者アンケート』の集計結果を示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-3 (P38) 「『校内役職者アンケート』の内容を当該部署へ送っていることを示す資料」</p> <p>【在学生】</p> <p>資料1-1-③-(1)-4 (P39) 「在学生に向けて行う意見聴取（学生生活実態調査）を依頼していることを示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-5 (P40) 「在学生に向けて行う意見聴取（学生生活実態調査）の設問の例を示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-6 (P41) 「在学生に向けて行った学生生活実態調査（学習環境・高専生活に関する満足度）の集計結果」</p> <p>資料1-1-③-(1)-7 (P42) 「分野横断的能力に関するアンケートの結果を学生毎に返却していることを示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-8 (P43) 「1～3年生を対象として実施している「学習支援ミーティング」の実施内容を示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-9 (P46) 「学生からの授業評価に基づいて当該教員が課題と対応を記入する様式を示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(1)-10 (P47) 「ある科目における学修（学習）達成度評価アンケートの集計結果を示す資料」</p> <p>【卒業（修了）時の学生】</p> <p>資料1-1-③-(1)-11 (P48) 「卒業生・修了生に向けて行う意見聴取を依頼しているこ</p>

	<p>とを示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-12 (P49)</p> <p>「卒業生・修了生に向けて行った意見聴取(卒業生・修了生アンケート)の設問例を示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-13 (P50)</p> <p>「卒業時の学生に行った意見聴取の集計結果を示す資料」</p> <p>【卒業(修了)から一定年数後の卒業(修了)生】</p> <p>資料 1-1-③-(1)-14 (P54)</p> <p>「卒業生および就職先企業に向けて行った意見聴取の集計結果を示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-15 (P55)</p> <p>「専攻科を修了した学生に「JABEE 修了生アンケート」を依頼したことを示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-16 (P56)</p> <p>「専攻科を修了した学生に対し実施した「JABEE 修了生アンケート」の回答を示す資料」</p> <p>【就職先関係者】</p> <p>資料 1-1-③-(1)-17 (P57)</p> <p>「本科を卒業した学生の就職先企業に向けて実施した学修成果に関するアンケートを示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-18 (P58)</p> <p>「専攻科を修了した学生の就職先企業に向けて実施したアンケートを示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-19 (P59)</p> <p>「専攻科を修了した学生の就職先企業に向けて実施したアンケートの回答例を示す資料」</p> <p>【保護者】</p> <p>資料 1-1-③-(1)-20 (P60)</p> <p>「平成 30 年度に保護者に対して行われた意見聴取を示す資料」</p> <p>資料 1-1-③-(1)-21 (P61)</p> <p>「平成 30 年度に保護者に対して行われた意見聴取の集計結果を示す資料」</p> <p>◇自己点検・評価結果報告書等の該当箇所</p> <p>資料 1-1-③-(1)-22 (P62)</p> <p>「平成 27 年度の J A B E E 受審に際して自己点検書を作</p>
--	---

	<p>成したことを示す資料」</p> <p>・この自己点検書の添付資料として様々なデータがあります。また、観点1-1-②-(2)で述べた中期計画に対する自己点検・評価報告は次の観点1-1-③-(2)に記してあります。</p>
<p>(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果等を踏まえて行っているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>【在学生の意見聴取】</p> <p>■学習環境に関する評価</p> <p>■学生による授業評価</p> <p>■学生による教育・学習の達成度に関する評価 (進級時等、卒業(修了)前の評価)</p> <p>■学生による満足度評価 (進級時等、卒業(修了)前の評価)</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>【卒業(修了)時の意見聴取】</p> <p>■卒業(修了)時の学生による教育・学習の達成度に関する評価</p> <p>■卒業(修了)時の学生による満足度評価</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>【卒業(修了)後の意見聴取】</p> <p>■卒業(修了)後の学生による学習成果の効果に関する評価</p> <p>■卒業(修了)後の就職・進学先等による学生の学習成果の効果に関する評価</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>【外部評価】</p> <p>■外部有識者の検証</p> <p>■教育活動に関する第三者評価 (機関別認証評価、JABEE等。)</p> <p>■設置計画履行状況調査</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>◇各評価結果等を踏まえて自己点検・評価が行われていることを示す報告書等の該当箇所</p> <p>資料1-1-③-(2)-1 (P63)</p> <p>「図書館や学寮の学生等への要望調査に基づいた対応が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf</p> <p>資料1-1-③-(2)-2 (P64)</p> <p>「学習環境に対しニーズや緊急性の検討に基づいて対応が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf</p> <p>資料1-1-③-(2)-3 (P65)</p> <p>「学生による授業評価に基づいて対応が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf</p> <p>資料1-1-③-(2)-4 (P66)</p> <p>「学生生活実態調査結果を公表し、教育方法の改善を図っていることを示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(2)-5 (P67)</p> <p>「外部有識者による参与会において学校の活動の検証を実施したことを示す資料」</p> <p>資料1-1-③-(2)-6 (P68)</p> <p>「機関別認証評価の評価結果に基づき改善が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf</p> <p>資料1-1-③-(2)-7 (P69)</p> <p>「JABEE受審に向けて改善が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf</p> <p>資料1-1-③-(2)-8 (P70)</p> <p>「平成28年度、29年度の設置計画履行状況等調査結果で</p>

	<p>意見が付されなかったことを示す資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、当該評価の内容を記述するとともに、上記◇と同様に該当箇所を明示すること。</p>
<p>【重点評価項目】</p> <p>観点1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 改善・向上のための組織体制には、委員会や担当部署のほか、改善・向上の取組のための責任の所在が明確になっていること。組織図等があれば提示すること。</p> <p>1-1-①-(2)と同じ組織体制を充てる場合であっても、自己点検・評価の実施と改善・向上の取組の両方の役割をそれぞれ明確に規程等で整理できているかを分析すること。</p> <p>○ 第三者評価等とは、機構が実施する機関別認証評価や、JABEE（日本技術者教育認定機構）によるJABEE認定プログラムの認定、機構が実施する特例適用専攻科の認定等のほか、第三者評価ではない、自己点検・評価の外部有識者による検証を含み、外部者が検証・評価した結果等の全てを想定しており、そこで指摘された改善事項等への対応を事例として想定している。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような体制が整備されているか。</p> <p>■整備されている</p> <p>□整備されていない</p>	<p>◇実施体制がわかる資料（組織相互関連図、関連規程、議事録、活動記録等）</p> <p>資料1-1-④-(1)-1 (P1)</p> <p>「教育の内部質保証の方針を明記した資料」(再掲)</p> <p>資料1-1-④-(1)-2 (P3)</p> <p>「教育の内部質保証における PDCA サイクルを示す資料」(再掲)</p> <p>資料1-1-④-(1)-3 (P5)</p> <p>「教育点検システムの活動状況について評価する部会の要項を示す資料」(再掲)</p> <p>資料1-1-④-(1)-4 (P6)</p> <p>「点検・評価委員会の審議事項について示す資料」(再掲)</p> <p>資料1-1-④-(1)-5 (P7)</p> <p>「外部有識者として点検・評価を行い、助言を行う参与会の規則を示す資料」(再掲)</p> <p>資料1-1-④-(1)-6 (P71)</p>

	<p>「平成 29 年度の点検・評価委員会において内部質保証の方針を構築し活動したことを示す資料」</p>
<p>(2) 前回の機関別認証評価における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応をしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対応している</p> <p><input type="checkbox"/> 対応していない</p> <p><input type="checkbox"/> 指摘を受けていない</p>	<p>◇対応状況がわかる資料</p> <p>資料 1-1-④-(2)-1 (P73)</p> <p>「前回の機関別認証評価における『改善を要する点』として指摘された事項」</p> <p>資料 1-1-④-(2)-2 (P74)</p> <p>「新しい学習・教育到達目標を策定し運営委員会において報告を行ったことを示す資料」</p> <p>資料 1-1-④-(2)-3 (P75)</p> <p>「平成 25 年度からの新たな教育目標（本科）とそれが公開されていることを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/education/goal/kyoikumokuh/yohonka/</p> <p>資料 1-1-④-(2)-4 (P76)</p> <p>「平成 25 年度からの新たな教育到達目標（専攻科）とそれが公開されていることを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/education/goal/kyoikutoutat/umokugyosenkoka/</p> <p>資料 1-1-④-(2)-5 (P77)</p> <p>「機関別認証評価結果を踏まえて行った改善を自己点検し参与会でも検証を行ったことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka_(H26.11.pdf</p>
<p>(3) (2) 以外で、実際に、自己点検・評価や第三者評価等の結果に基づいて改善に向けた取組を行っているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善に向けた取組を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 改善に向けた取組を行っていない</p>	<p>◇自己点検・評価結果報告書や第三者評価等の該当箇所【JABEE】</p> <p>資料 1-1-④-(3)-1 (P78)</p> <p>「平成 27 年度に JABEE 認定されたことを示す資料」</p> <p>◇評価結果を受けた改善の取組がわかる資料</p> <p>資料 1-1-④-(3)-2 (P84)</p> <p>「平成 27 年度の JABEE 受審において指摘された項目の改善報告を示す資料」</p>
<p>1-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	

<p>評価の視点</p> <p>1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。</p>	
<p>（準学士課程）</p> <p>観点1-2-① 準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ ガイドラインとは、下記関係法令に示す平成28年3月31日に決定されたガイドラインのことをいう。</p> <p>○ 「卒業の認定に関する方針」（ディプロマ・ポリシー）については、ガイドラインの3ページ上段の基本的な考え方や、同5ページ下半分の三つのポリシー相互の関係、同6ページのディプロマ・ポリシーについて等、ガイドラインの内容を参照の上、適切に定められていることを分析すること。</p> <p>○ 教育する立場からみた教えるべき内容ではなく、教育を受ける側（＝学習者＝学生）の立場に立って「何を身に付け、何ができるようになったか」という学習の成果が明確にわかる、具体的な内容となっていることを分析すること。</p> <p>○ 学校教育法施行規則第172条の2第1項第1号の規定により学校の目的を、高等専門学校設置基準第3条の規定により学科ごとの目的を、それぞれ定めることが義務付けられており（本評価書のⅡ目的に記載するもの。）、それぞれの目的と卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が、内容的に齟齬がないなど整合性を有していることを分析すること。</p> <p>○ 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の策定の単位は、準学士課程全体で一つのポリシーを定めることや、学科ごとに定めることが考えられるところであり、学校・学科の目的や教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）との整合性を踏まえて、学校ごとに策定単位を明確にすることが求められる。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>（法）第117条（施）第165条の2（設）第17条第3～6項、第17条の2、第17条の3、第18条、第19条、第20条</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会）</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) ガイドライン等を踏まえ、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■準学士課程全体として定めている</p> <p>□学科ごとに定めている</p> <p>□その他</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇策定した卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <p>資料1-2-①-（1）-1（P85）</p> <p>「準学士課程全体として定めているディプロマ・ポリシー」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/entrance_exam/about_anan/</p>

<p>(2) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）と整合性を有しているか。</p> <p>■整合性を有している □整合性を有していない</p>	<p>3policies/</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。</p>
<p>(3) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の中で、学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。</p> <p>■示している □示していない</p>	
<p>観点1-2-② 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ ガイドラインとは、下記関係法令に示す平成28年3月31日に決定されたガイドラインのことをいう。</p> <p>○ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）については、ガイドラインの3ページ上段の基本的な考え方や、同5ページ下半分の三つのポリシー相互の関係、同6ページカリキュラム・ポリシーについて等、ガイドラインの内容を参照の上、適切に定められていることを分析すること。</p> <p>○ 特に、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は学校教育法施行規則第165条の2第2項において、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有して定めることが求められていることから、両ポリシーの内容が整合的であることを分析すること。</p> <p>○ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の策定の単位は、準学士課程全体又は学科ごとに定めることが想定される場所であり、学校・学科の目的や卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を踏まえて、学校ごとに策定単位を明確にすることが求められる。（卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と策定単位が一致していることが原則であると想定されるが、各高等専門学校の判断で策定単位を一致させていないことも想定されることから、整合性を分析する際には、形式的に留まらず内容的整合性を分析することが求められる。）</p> <p>○ (3)の選択肢のうち、「その他」以外のものについては、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に必ず含むものとして想定している。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(施)第165条の2 (設)第15条、第16条、第17条(第7項)、第17条の2</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>

<p>(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を定めているか。 (該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 準学士課程全体として定めている</p> <p><input type="checkbox"/> 学科ごとに定めている</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇策定した教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)</p> <p>資料1-2-②-(1)-1 (P86)</p> <p>「準学士課程全体として定めているカリキュラム・ポリシー」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/entrance_exam/about_anan/3policies/</p>
<p>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性を有しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 整合性を有している</p> <p><input type="checkbox"/> 整合性を有していない</p>	<p>資料1-2-②-(1)-2 (P88)</p> <p>「ディプロマ・ポリシーに記述されている『普遍的に有用性を持つ能力』とそれを育成する科目の対応表」</p> <p>資料1-2-②-(1)-3 (P89)</p> <p>「ディプロマ・ポリシーに記述されている『専門分野に固有の知識・技術』とそれを育成する科目の対応表」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。</p>
<p>(3) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、どのような内容を含んでいるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>観点1-2-③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ ガイドラインとは、下記関係法令に示す平成28年3月31日に決定されたガイドラインのことをいう。</p> <p>○ 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)については、ガイドラインの3ページ上段の基本的な考え方や、同5ページ下半分の三つのポリシー相互の関係、同6ページのアドミッション・ポリシーについて等、ガイドラインの内容を参照の上、適切に定められていることを分析すること。</p> <p>○ 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)の策定の単位は、準学士課程全体で1つのポリシーを定めることが考えられるが、学科ごとに定めることも可能である。</p> <p>○ 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「入学者選抜の基本方針」と「求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)」の両方を定めているかを分析すること。なお、受け入れる学生に求める学習成果として、「学力の3要素」に沿った成果の内容が明示されていることを分析すること。</p> <p>○ 「学力の3要素」とは、1 知識・技能、2 思考力・判断力・表現力等の能力、3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度のことである。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第57条、第118条 (施)第165条の2</p>

<p>「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)を定めているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■準学士課程全体として定めている</p> <p>□学科ごとに定めている</p> <p>□その他</p>	<p>◇策定した入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p>資料1-2-③-(1)-1(P93)</p> <p>「準学士課程全体として定めているアドミッション・ポリシー」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/entrance_exam/about_anan/3policies/</p>
<p>(2) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)は、学校の目的や学科の目的(本評価書Ⅱに記載したもの)、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて策定しているか。</p> <p>■目的・方針等を踏まえて策定している</p> <p>□目的・方針等を踏まえて策定していない</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。</p>
<p>(3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。</p> <p>■明示している</p> <p>□明示していない</p>	
<p>(4) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)」を明示しているか。</p> <p>■明示している</p> <p>□明示していない</p>	
<p>(5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。</p> <p>■含まれている</p> <p>□含まれていない</p>	
<p>(専攻科課程)</p> <p>観点1-2-④ 専攻科課程の修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点1-2-①の留意点に準ずるものとする。</p>	

<p>関係法令</p>	<p>(法)第119条第2項 (施)第165条の2 (設)第17条第3～6項、第17条の2、第17条の3、第18条、第19条、第20条</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) ガイドライン等を踏まえ、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定めているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■専攻科課程全体として定めている</p> <p>□専攻ごとに定めている</p> <p>□その他</p>	<p>◇策定した修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)がわかる資料</p> <p>資料1-2-④-(1)-1(P94)</p> <p>「専攻科課程全体として定めているディプロマ・ポリシー」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/department/advanced/sen_d</p>
<p>(2) 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が、「何ができるようになるか」に力点を置き、専攻科課程全体、各専攻の目的(本評価書Ⅱに記載したもの)と整合性を有しているか。</p> <p>■整合性を有している</p> <p>□整合性を有していない</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。</p>
<p>(3) 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)の中で、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。</p> <p>■示している</p> <p>□示していない</p>	
<p>観点1-2-⑤ 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点1-2-②の留意点に準ずるものとする。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(施)第165条の2 (設)第15条、第16条、第17条(第7項)、第17条の2</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p>	

<input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めているか。 （該当する選択肢にチェック■する。） <input checked="" type="checkbox"/> 専攻科課程全体として定めている <input type="checkbox"/> 専攻ごとに定めている <input type="checkbox"/> その他	◇策定した教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）がわかる資料 資料1-2-⑤-(1)-1 (P95) 「専攻科課程全体として定めているカリキュラム・ポリシー」 http://www.anan-nct.ac.jp/department/advanced/sen_cp/
(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を有しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整合性を有している <input type="checkbox"/> 整合性を有していない	/ 資料1-2-⑤-(1)-2 (P96) 「ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの対応を示す資料」 ◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。
(3) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、どのような内容を含んでいるか。（該当する選択肢にチェック■する。） <input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している <input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している <input checked="" type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している <input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。
観点1-2-⑥ 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	
【留意点】 <input type="checkbox"/> 観点1-2-③の留意点に準ずるものとする。	
関係法令	(法)第119条第2項(施)第165条の2、第177条 「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会）
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めているか。（該	◇策定した入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

<p>当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■専攻科課程全体として定めている</p> <p>□専攻ごとに定めている</p> <p>□その他</p>	<p>資料1-2-⑥-(1)-1 (P97)</p> <p>「専攻科課程全体として定めているアドミッション・ポリシー」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/department/advanced/sen_a/p/</p>
<p>(2) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）は、学校の目的や専攻科課程の目的（本評価書Ⅱに記載したもの）、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて策定しているか。</p> <p>■目的・方針等を踏まえて策定している</p> <p>□目的・方針等を踏まえて策定していない</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、策定単位を具体的に記述する。</p>
<p>(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。</p> <p>■明示している</p> <p>□明示していない</p>	
<p>(4) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）には、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示しているか。</p> <p>■明示している</p> <p>□明示していない</p>	
<p>(5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。</p> <p>■含まれている</p> <p>□含まれていない</p>	
<p>1-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p> <p>1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。</p>	
<p>観点1-3-① 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (2)の点検の実施については、改組転換といった教育組織の見直しや教育課程の充実（外国語科目の充実や、実務教育科目の充実等。）により、三つの方針の全体若しくはいずれかの見直しを行っていることについて、分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第109条 (施)第166条 (設)第2条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p>	

<input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> なっていない	◇点検を行う体制がわかる資料（関連規定等、毎年度、三つの方針の内容を点検し、必要に応じて見直すことについて定めているもの。） 資料1-3-①-(1)-1 (P98) 「学校の目的や三つのポリシーを適宜見直すことが規定されていることを示す資料」
(2) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 点検して、改定している <input type="checkbox"/> 点検した上で、改定を要しないと判断している <input type="checkbox"/> 点検していない	◇点検の実情に関する資料（実績） 資料1-3-①-(2)-1 (P100) 「平成29年度に学科及び専攻科の目的を見直したことを示す資料」 資料1-3-①-(2)-2 (P101) 「平成29年度に準学士課程の三つのポリシーを見直したことを示す資料」 資料1-3-①-(2)-3 (P102) 「平成29年度に専攻科課程の三つのポリシーを見直したことを示す資料」 資料1-3-①-(2)-4 (P103) 「平成28年度に制定した準学士課程の三つのポリシー（改定前）を示す資料」 資料1-3-①-(2)-5 (P104) 「平成28年度に制定した専攻科課程の三つのポリシー（改定前）を示す資料」
1-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	

基準1

<p>優れた点</p> <p>内部質保証システムを新たに構築し、具体的な項目に基づいて自己点検・評価を行っている。また、クラウド型教育支援システム（manaba）を用いて、継続的かつ組織的に学生の生活実態やニーズ等を収集・蓄積し、評価している。</p>
<p>改善を要する点</p>

基準 2 教育組織及び教員・教育支援者等

<p>評価の視点</p> <p>2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。</p>	
<p>観点 2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 準学士課程の目的と卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての学科に関係する記述が明確になっていることを分析すること。</p> <p>○ 学科ごとの目的が、高等専門学校設置基準の規定に適合しているかどうかとともに、本評価書Ⅱに記載した学校の目的に適合しているかについて分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第116条 (設)第4条、第4条の2、第5条、第27条の3</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 学科の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。</p> <p>■整合性がとれている</p> <p>□整合性がとれていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◆学校の目的及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した学科の構成となっていることについて、資料を基に記述する。</p> <p>本校の目的は学則第1条で、学科の教育目的は学則第7条の2で定めている（資料2-1-①-（1）-1，P105「阿南工業高等専門学校学則で規定された学校の目的」、資料2-1-①-（1）-2，P106「阿南工業高等専門学校学則で規定された学科の教育目的」）。これに基づいて準学士課程全体でディプロマ・ポリシーを定めている。（資料2-1-①-（1）-3，P85「準学士課程全体として定めているディプロマ・ポリシー」（再掲）本校は1学科（創造技術工学科）のもとに学則で定められた機械コース、電気コース、情報コース、建設コース、化学コースの5コースを設けており、学科及びコースの構成は学校の目的及び卒業の認定に関する方針と整合性がとれている。</p>
<p>観点 2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 専攻科課程の目的と修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての専攻に関係する記述が明確になっていることを分析すること。</p> <p>○ 専攻ごとの目的が、学校教育法の規定に適合しているかどうかについて分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第119条第2項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 専攻の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したものの。）及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整合性がとれている <input type="checkbox"/> 整合性がとれていない	◇本評価書Ⅱに記載したものの以外に専攻科規程等があれば、それがわかる資料 資料2-1-②-(1)-1 (P105) 「阿南工業高等専門学校学則で規定された学校の目的」(再掲) 資料2-1-②-(1)-2 (P107) 「阿南工業高等専門学校学則での専攻科の規定」 資料2-1-②-(1)-3 (P109) 「阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則」 資料2-1-②-(1)-4 (P111) 「専攻科の修了要件を含む学業成績評価に関する規則」 ◆学校の目的及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した専攻の構成となっていることについて、資料を基に記述する。 本校の目的は学則第1条で定めている。(資料2-1-②-(1)-1, P105「阿南工業高等専門学校学則で規定された学校の目的」(再掲)) これに基づいて専攻科課程全体で教育目標を定めている。この教育目標に沿ってディプロマ・ポリシーを定めている。(資料2-1-②-(1)-5, P94「専攻科課程全体として定めているディプロマ・ポリシー」(再掲)) http://www.anan-nct.ac.jp/department/advanced/sen_dip) したがって、学校の目的と卒業の認定に関する方針は整合性がとれている。
観点2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	
【留意点】なし。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。	◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制がわかる資料(当

<p>■整備している □整備していない</p>	<p>該事項を審議するための組織の構成図、運営規程等) 資料2-1-③-(1)-1 (P115) 「教務主事が教務に関することを掌理する役割であることを定めた規則」 資料2-1-③-(1)-2 (P116) 「教務主事が委員長を務める教務委員会の審議事項と組織を定めている規則」</p>
<p>(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。 ■行っている □行っていない</p>	<p>◇活動が行われている実績がわかる資料(当該事項の審議内容を記した会議の議事録や議事要旨等) 資料2-1-③-(2)-1 (P117) 「教務委員会の活動を示す議事要旨例」</p>
<p>2-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点 2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。</p>	
<p>観点2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した学校の目的に沿って編成された教育課程を展開するために、必要な教員が配置されていることを分析すること。</p> <p>(例1) 目的に「国際的コミュニケーション能力を育成する」を掲げている場合、英語担当教員の配置の充実や、ネイティブスピーカーの配置の充実等。</p> <p>(例2) 目的に「実践的技術者を育成する」を掲げている場合、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ (1)(2)に関し、専任教員数には助教の数も含めることができる(助手は除く。)</p> <p>○ (4)(5)については、非常勤講師についても分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第120条 (設)第6条、第7条、第8条、第9条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。 ■確保している □確保していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表 資料2-2-①-(1)-1 (P118) 「教員の選考が高等専門学校設置基準に従っていないことはならないことを明記した規則」</p>

<p>(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している □確保していない</p>	
<p>(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している □確保していない</p>	
<p>(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。</p> <p>■担当が適切である □担当が適切でない</p>	<p>◇【別添】担当教員一覧表等 資料2-2-①-(4)-1 (P119) 「一般教養と各コースに所属する専任教員の専門分野を示す資料」</p>
<p>(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■博士の学位 □ネイティブスピーカー（担当する言語を母国語とする） ■技術資格 ■実務経験（教育機関以外の民間企業等における勤務経験者等） □海外経験 □その他</p>	<p>◆配慮事項として掲げる博士の学位、ネイティブスピーカー、技術資格、実務経験、海外経験、その他の具体的な内容について、資料を基に記述する。</p> <p>本校教員採用の人事ガイドラインに、本校の目的として学生教育、研究、社会連携、国際交流などを掲げ、教員選考は、その目標の達成につながるものであると明記している。また、その教授選考において、「博士の学位、技術士の資格、技術士相当の業務経験と能力（ものづくりに関わる工場長、部（課）長経験）」を明記している（准教授、講師、助教も同様）。（資料2-2-①-(5)-1, P123「教員採用ならびに昇任人事のガイドラインを示す資料」)</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な配慮事項を記述する。</p>
<p>観点2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した目的や修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて編成された教育課程を展開するために必要な教員が配置されていることを分析すること。 （例）目的に「応用開発型技術者を育成する」を掲げている場合、博士取得者、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ 本評価書Ⅰ(1)4.において、特例適用専攻科について記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	

関係法令	(法)第119条第2項
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>本校の専攻科は特例適用専攻科として認定されており、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されていると判断する。</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。</p> <p>■適切に確保している</p> <p>□適切に確保していない</p>	◇【別添】担当教員一覧表等
<p>(2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。</p> <p>■担当が適切である</p> <p>□担当が適切でない</p>	◆左記について、資料を基に記述する。
<p>(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。</p> <p>■担当が適切である</p> <p>□担当が適切でない</p>	◇適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当していることがわかる資料
<p>観点2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
関係法令	(設)第6条第6項
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。</p> <p>■配慮している</p> <p>□配慮していない</p>	<p>◇教員の年齢構成がわかる資料（観点4-3-①の、教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する根拠資料を流用してもよい。）</p> <p>資料2-2-③-（1）-1（P124）</p> <p>「教員の年齢別構成」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/04/H30.4.1stuff.pdf</p> <p>資料2-2-③-（1）-2（P125）</p> <p>「教員の職種別・年齢別在籍状況がわかる資料」</p> <p>◆配慮の取組について、資料を基に記述する。</p>

	<p>年齢幅を設定しての募集・採用は行っていないが、募集職名（例：助教、講師等）である程度の年齢層を考慮している。現時点において、学校全体で教員の年齢構成に著しい偏りはない。（資料2-2-③-（1）-2，P125「教員の職種別・年齢別在籍状況がわかる資料」（再掲））</p>
<p>(2) (1)以外に配慮している措置はあるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■教育経歴</p> <p>■実務経験</p> <p>■男女比</p> <p>□その他</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>資料2-2-③-（2）-1（P126）</p> <p>「教員の配置をする上で教育経歴や実務経験を考慮して公募していることがわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（2）-2（P129）</p> <p>「教員公募に女性の積極的採用を明示している資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>□学位取得に関する支援</p> <p>□任期制の導入</p> <p>■公募制の導入</p> <p>■教員表彰制度の導入</p> <p>□企業研修への参加支援</p> <p>■校長裁量経費等の予算配分</p> <p>■ゆとりの時間確保策の導入</p> <p>■サバティカル制度の導入</p> <p>■他の教育機関との人事交流</p> <p>□その他</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>資料2-2-③-（3）-1（P130）</p> <p>「公募制を導入し、実施していることがわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（3）-2（P132）</p> <p>「教員表彰制度の導入・実施がわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（3）-3（P134）</p> <p>「校長裁量経費等の予算配分がわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（3）-4（P135）</p> <p>「ゆとりの時間確保策の導入がわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（3）-5（P136）</p> <p>「サバティカル制度の導入・実施がわかる資料」</p> <p>資料2-2-③-（3）-6（P138）</p> <p>「他の教育機関との人事交流を実施していることがわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>2-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	

該当なし	
評価の視点	
2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。	
観点2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	
【留意点】なし。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。	
■満たしていると判断する	
□満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 全教員（非常勤教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない	◇教員評価に係る規程等がわかる資料 資料2-3-①-(1)-1 (140) 「全教員が毎年度当初に校長に提出する目標・計画の様式を示す資料」 資料2-3-①-(1)-2 (P142) 「全教員が毎年度末に校長に提出する目標・計画達成度自己評価の様式を示す資料」
(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。 ■実施している □実施していない	資料2-3-①-(1)-3 (P143) 「教員評価を実施するための教育業績ポイントシステムを示す資料」 資料2-3-①-(1)-4 (P145) 「教員評価を実施するための研究活動ポイントの要領と報告の様式を示す資料」 資料2-3-①-(1)-5 (P147) 「教員評価を実施するための役職者の裁量による教育業績ポイント配当の様式を示す資料」 ◇給与や研究費配分に活用することとしているか、教員組織の見直し等に活用することとしているかがわかる資料 資料2-3-①-(2)-1 (P148) 「評価が研究費配分に活用されていることがわかる資料」 資料2-3-①-(2)-2 (P149) 「教員への教育研究費配分額の事項別内訳」 資料2-3-①-(2)-3 (P150) 「校長が個人面談により教員の評価を定期的に行っていることを示す資料」

<p>(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。 (該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input type="checkbox"/>給与における措置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>研究費配分における措置</p> <p><input type="checkbox"/>教員組織の見直し</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>表彰</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p> <p>◆評価結果を具体的にどのように活用しているのか、資料を基に記述する。</p> <p>教育・研究活動を活性化するため、教員個人に配分する研究費の一部は教員個人の教育研究活動業績及び役職者からの評価を数値化したものを基に傾斜配分を行っている。また、教育研究の諸活動で優れた取組みをおこなった教職員に対し、表彰を行っている。(資料2-3-①-(2)-1, P148「評価が研究費配分に活用されていることがわかる資料」(再掲)、資料2-3-①-(3)-1, P151「教員表彰の実施がわかる資料」)</p>
<p>(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実施している</p> <p><input type="checkbox"/>実施していない</p>	<p>◇教員評価に係る規程等を定めた資料</p> <p>資料2-3-①-(4)-1 (P152)</p> <p>「全科目に対するシラバス到達目標達成度アンケート依頼」</p> <p>◇実施していることがわかる資料</p> <p>資料2-3-①-(4)-2 (P153)</p> <p>「非常勤講師担当科目のシラバス到達目標達成度アンケート集計結果」</p>
<p>観点2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (3)の◆の自己評価において、採用や昇格等に関する規程が高等専門学校設置基準に適合することについて、採用や昇格に関して教育上の能力を考慮していることについても言及すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第11~14条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/>満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教員(非常勤教員を除く。)の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定めている</p> <p><input type="checkbox"/>定めていない</p>	<p>◇定めている規程がわかる資料(採用・昇格に関する体制、方法、教員の資格、能力や業績に関する基準等が明記されているもの。)</p> <p>資料2-3-②-(1)-1 (P154)</p> <p>「教員の採用・昇格等に関する規則」</p>

	<p>資料2-3-②-(1)-2 (P155) 「教員の採用・昇格に関する基準が明記されている資料」</p>
<p>(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を 確認する仕組みとなっているか。(該当する選択肢にチ ェック■する。)</p> <p>■模擬授業の実施 ■教育歴の確認 ■実務経験の確認 □海外経験の確認 □国際的な活動実績の確認 □その他</p>	<p>◇実施・確認していることがわかる資料 資料2-3-②-(2)-1 (P160) 「教員の公募時に模擬授業を実施することがわかる資料」 資料2-3-②-(2)-2 (P161) 「教員の採用や昇格等の際に教育経歴を確認しているこ とがわかる資料」 資料2-3-②-(2)-3 (P162) 「教員の採用や昇格等の際に実務経験を確認しているこ とがわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、そ の状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行って いるか。</p> <p>■行っている □行っていない</p>	<p>◆左記について、採用・昇格の実績を踏まえ、資料を基に 記述する。 採用・昇格予定者に自己申告書を提出させ、人事委員会に て、教員人事ガイドラインに記載の条件を満たしているか 適正に審議する。(資料2-3-②-(3)-1, P163 「教員の採用・昇格等を行っていることがわかる資料」)</p>
<p>(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。</p> <p>■定めている □定めていない</p>	<p>◇非常勤教員の採用基準等の規程がわかる資料 資料2-3-②-(4)-1 (P164) 「非常勤教員の採用基準がわかる資料」 資料2-3-②-(4)-2 (P165) 「外部資金等により雇用される教員の採用基準がわかる 資料」</p>
<p>2-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や 特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点 2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育 支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。</p>	
<p>観点2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメン ト）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。</p>	

【留意点】なし。	
関係法令	(設)第 17 条の 4
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を実施する体制を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇関係する委員会等の組織関係図、役割と責任が把握できる資料、関連規程 資料 2-4-①-(1)-1 (P166) 「FDの実施体制を示す資料」 ◇実施体制・実施方針・内容・方法がわかる資料 資料 2-4-①-(1)-2 (P167) 「FDの実施方針を示す資料」 資料 2-4-①-(1)-3 (P168) 「FDの実施内容・方法を示す資料」
(2) 定期的にFDを実施しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	◇実施状況（参加状況等。）がわかる資料 資料 2-4-①-(2)-1 (P169) 「FDの実施状況を示すAL研究会、夏季教員研修会、冬季教員研修会の開催案内資料」 ◇FDに関する報告書等の該当箇所等 資料 2-4-①-(2)-2 (P171) 「FDの実施に関する報告の資料」 資料 2-4-①-(2)-3 (P172) 「夏季教員研修会の開催報告の資料」 http://www.anan-nct.ac.jp/notifications/715/
(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	◆FDの結果、改善に結びついた事例で組織として把握している取組について、資料を基に記述する。 本校では学内教員のFD活動のひとつとして教育開発推進室がLMSを活用した教育改善に取り組んでおり成果をあげている。(資料 2-4-①-(3)-1, P173 「FDの結果、改善に結びついた事例を示す資料」)
観点 2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。	
【留意点】	

○ 助手を配置している場合には、組織、人数、支援内容等の配置状況がわかる資料を提示すること。	
関係法令	(法)第120第1項第1号、2号、7号 (設)第7条、第10条、第25条第2項
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）を法令に従い適切に配置しているか。</p> <p>■配置している</p> <p>□配置していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表、教育支援者に関する事務組織図、役割分担がわかる資料</p> <p>資料2-4-②-(1)-1 (P174)</p> <p>「教育支援者等を配置する規則」</p> <p>資料2-4-②-(1)-2 (P175)</p> <p>「教育支援者に関する組織図、役割分担がわかる資料」</p> <p>資料2-4-②-(2)-1 (P176)</p> <p>「図書館の専門職員が有資格者である資料」</p>
<p>(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。</p> <p>■配置している</p> <p>□配置していない</p>	
<p>観点2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。</p> <p>【留意点】</p> <p>○ スタッフ・ディベロップメント（管理運営等の研修）への取組は観点4-2-⑤で分析するため、ここでは、FDに関連した教育の質の向上や授業の改善に関する教育支援者に対する取組を分析すること。FDへの取組の中で教員と教育支援者双方を対象とするものも想定される。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>(1) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇研修等の実施状況（参加状況等。）の取組がわかる資料</p> <p>資料2-4-③-(1)-1 (P177)</p> <p>「教育支援者等に対する資質向上を図るための取組を示す資料」</p>
<p>2-4 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>本校は文部科学省の平成26年度大学改革推進等補助金の大学教育再生加速プログラムテーマⅡ「学修成果の可視化」に採択され、教育開発推進室を中心に、人間力・社会力（コンピテンシー）の可視化と評価の他、様々な活動を行っている。</p>	

基準2

<p>優れた点</p> <p>FD委員会が中心となって、教育の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を推し進める活動をしており、教員研修（夏季、冬季ほか）、学生相談室主催の研修、研究談話会、AL研究会など積極的に取り組んでいる。ま</p>
--

阿南工業高等専門学校

<p>た、より高度な教育改善を実現することを目的に教育開発推進室が活動を行っている。</p>
<p>改善を要する点</p>
<p>該当なし</p>

基準3 学習環境及び学生支援等

<p>評価の視点</p> <p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>	
<p>観点3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (4)の専用の施設とは、高等専門学校設置基準第23条に規定する施設のことである。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第22条、第23条、第24条、第26条、第27条、第27条の2、(施)第172条の2</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 校地面積を法令に従い適切に確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表</p>
<p>(2) 校舎面積を法令に従い適切に確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表</p>
<p>(3) 運動場を設けているか。</p> <p>■校舎と同一の敷地内又はその隣接地に設けている</p> <p>□その他の適当な位置に設けている</p> <p>□設けていない</p>	<p>◇設置状況がわかる資料</p> <p>資料3-1-①-(3)-1 (P178)</p> <p>「運動場の設置状況がわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その設置場所を具体的に記述する。</p>
<p>(4) 高等専門学校の校舎に専用の施設を法令に従い適切に備えているか。</p> <p>■備えている</p> <p>□備えていない</p>	<p>◇設置状況がわかる資料</p> <p>資料3-1-①-(4)-1 (P179)</p> <p>「専用の施設がわかる資料」</p>
<p>(5) 学科の種類に応じ、附属施設を法令に従い適切に整備しているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■実験・実習工場</p> <p>□練習船</p> <p>□その他</p>	<p>◇設置状況がわかる資料</p> <p>資料3-1-①-(5)-1 (P188)</p> <p>「実験・実習工場を法令に従い適切に整備しているのがわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。</p>

<p>(6) 自主的学習スペースを設けているか。</p> <p>■設けている □設けていない</p>	<p>◇設置状況がわかる資料 資料3-1-①-(6)-1 (P189) 「自主的学習スペースがわかる資料」</p>
<p>(7) 教育研究環境の充実を図るため、(3)～(6)以外の施設・設備を設けているか。(該当する選択肢にチェックする。)</p> <p>■厚生施設 ■コミュニケーションスペース □その他</p>	<p>◇設置状況がわかる資料 資料3-1-①-(7)-1 (P190) 「厚生施設、コミュニケーションスペースがわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。</p>
<p>(8) 施設・設備の安全衛生管理体制を整備しているか。</p> <p>■整備している □整備していない</p>	<p>◇安全衛生管理体制がわかる資料 資料3-1-①-(8)-1 (P191) 「安全衛生管理体制がわかる規則」</p> <p>◇設備使用に関する規定、設備利用の手引き等 資料3-1-①-(8)-2 (P192) 「実験実習工場での安全管理周知がわかる資料」 資料3-1-①-(8)-3 (P193) 「設備利用の安全の手引き」</p>
<p>(9) (8)の体制が有効に機能しているか。</p> <p>■機能している □機能していない</p>	<p>◆安全(指導)管理に係る講習会等が行われている事例に関する資料を基に記述する。</p> <p>安全衛生委員会では毎月会議を開催し、安全衛生の観点から様々な問題点について審議している。毎月、衛生管理者、産業医による校内巡視があり、巡視結果を安全衛生委員会へ報告している。安全衛生上、改善の必要があれば委員会から該当部署、担当者へ連絡し、是正を依頼している。また、安全講習を年度初め、或いはその都度、個別に行っている。指導する技術職員についても危険を伴う作業などについては講習会を受講している。(資料3-1-①-(9)-1, P194「安全衛生管理体制が有効に機能していることがわかる資料」、資料3-1-①-(9)-2, P195「安全教育に係る講習会が行われていることがわかる資料」</p>
<p>(10) 施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っている</p>	<p>◇施設・設備の整備状況・整備計画等のバリアフリー化へ</p>

<p>か。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>の取組を示す資料</p> <p>資料3-1-①-(10)-1 (P196)</p> <p>「障害学生への支援(バリアフリー)を示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2017/06/barriermap.pdf</p>
<p>(11) 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制に関する規程等の資料</p> <p>資料3-1-①-(11)-1 (P197)</p> <p>「整備された教育・生活環境の改善等を行う体制がわかる規則」</p>
<p>(12) (11)の体制において、教育・生活環境の利用状況や満足度等を把握し、改善等を実際に行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇教育・生活環境の利用状況や満足度等が把握できる資料</p> <p>資料3-1-①-(12)-1 (P199)</p> <p>「教育・生活環境の利用状況や満足度がわかる資料」</p> <p>資料3-1-①-(12)-2 (P120)</p> <p>「学生生活実態調査で生活環境の満足度がわかる資料」</p> <p>◆左記について、改善を行った事例があれば、その事例の内容がわかる資料を基に記述する。</p> <p>建設・化学棟利用者アンケート調査の結果、建設・化学棟改修工事で廊下に設置した洗面カウンターが好評であり、他でも設置希望があったため、電気棟改修時にホールに設置した。(資料3-1-①-(12)-3, P201「学生の要望に基づき改善を行ったことがわかる資料」)</p>
<p>観点3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ この観点のICT環境とは、無線・有線LANやパソコン等の活用環境等のネットワークシステムの整備状況(利用可能なエリアの状況も含む。)の概要を想定しており、ネットワークシステムの具体的な方式等については資料として求めている。</p> <p>○ この観点では、ハードウェアの側面から捉えたICT環境について分析するものとし、ソフトウェアの側面から構築された成績確認や学習相談等に関するシステムの整備については、観点3-2-②で分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する□欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する□欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境を適切に整備しているか。</p>	<p>◇ICT環境の整備状況がわかる資料(学校内ネットワーク環境の整備状況、授業内外で学生が利用可能なパソコン</p>

<p>■整備している □整備していない</p>	<p>の台数、情報処理センターの組織規程等。) 資料3-1-②-(1)-1 (P202) 「ネットワーク配線概要図資料」 資料3-1-②-(1)-2 (P203) 「ICT環境の整備状況がわかる学生が利用可能なパソコンの台数資料」</p>
<p>(2) ICT環境のセキュリティ管理体制を適切に整備しているか。 ■整備している □整備していない</p>	<p>◇セキュリティ管理に関する規程等、セキュリティポリシー、セキュリティシステムの概要、ICT環境の管理体制及び業務内容、講習会等がわかる資料 資料3-1-②-(2)-1 (P205) 「情報セキュリティ管理規則の資料」 資料3-1-②-(2)-2 (P206) 「セキュリティ管理体制図の資料」 資料3-1-②-(2)-3 (P207) 「セキュリティ管理体制の資料」 資料3-1-②-(2)-4 (P208) 「セキュリティ講習会の資料」</p>
<p>(3) ICT環境は有効に活用されているか。 ■活用されている □活用されていない</p>	<p>◇ICT環境の利用状況がわかる資料 資料3-1-②-(3)-1 (P209) 「学生が利用可能なパソコンの利用状況がわかる資料」</p>
<p>(4) (3)について学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない</p>	<p>◇体制に関する規定等の資料 資料3-1-②-(4)-1 (P212) 「学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度を把握する体制の規定がわかる資料」 資料3-1-②-(4)-2 (P213) 「ICT環境の満足度を把握していることがわかる資料」 資料3-1-②-(4)-3 (P214) 「インターネット環境に満足している学生が60%を超えていることを示す資料」</p>
<p>(5) (4)の体制が機能しているか。 ■機能している □機能していない</p>	<p>◆左記について、改善を行った事例がある場合は、その事例の内容がわかる資料を基に記述する。 学習管理システムである「manaba」を用いることにより、インターネットを通じて授業や自学自習を行うことができる。教育開発推進室を中心にこのシステムの利用を教員や学生へ促し、その利用状況は年を追って増大している (資料3-1-②-(5)-1, P215「学習管理システ</p>

	<p>ム (LMS)「manaba」(ICT 環境)の利用状況を把握していることがわかる資料」、資料 3-1-②-(5)-2, P216「授業における学習管理システム (LMS)「manaba」(ICT 環境)の利用状況を把握していることがわかる資料」)。したがって、ICT 環境を有効に利用する体制は機能している。</p>
<p>観点 3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 教育課程、学科の種類、学年区分に応じて、教育研究上必要となる図書、学術雑誌、視聴覚資料、その他の資料が系統的 (学科構成に対応した系統性、学習内容に対応した分野やレベル等の系統性。)に収集、整理されているかについて分析すること。また、活用面について、これらの資料の教職員や学生による利用状況等について分析すること。</p> <p>○ 図書等の整備方針、整備状況及び図書館等の開館時間がわかる資料を提示すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第 25 条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 図書館の設備を法令に従い備えているか。</p> <p>■備えている</p> <p>□備えていない</p>	<p>◇整備状況がわかる資料</p> <p>資料 3-1-③-(1)-1 (P217)</p> <p>「図書館の整備状況がわかる資料」</p>
<p>(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集、整理しているか。</p> <p>■系統的に収集、整理している</p> <p>□系統的に収集、整理していない</p>	<p>◇整備方針、整備状況 (内訳、冊子等のデータ) がわかる資料</p> <p>資料 3-1-③-(2)-1 (P218)</p> <p>「図書館の整備方針、整備状況がわかる資料」</p>
<p>(3) (2)の資料は、教職員や学生に有効に活用されているか。</p> <p>■活用されている</p> <p>□活用されていない</p>	<p>◇図書館等の教職員や学生による利用状況 (図書等貸出数、図書館入館者数) がわかる資料</p> <p>資料 3-1-③-(3)-1 (P219)</p> <p>「図書館等の教職員や学生による利用状況がわかる資料」</p>
<p>(4) (2)の資料が有効に活用されるための取組を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇図書館等の利用サービスに係る取組 (開館時間への配慮、職員等によるガイダンス等) がわかる資料</p> <p>資料 3-1-③-(4)-1 (P221)</p> <p>「図書館等の利用サービスに係る取組がわかる資料」</p>
<p>3-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や</p>	

特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	
評価の視点	
3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。	
観点3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。	
【留意点】	
○ 入学時や授業登録時等において実施しているガイダンスについて、学校全体に対するものか、学年全体に対するものか、学科・専攻ごとに実施するものか、それぞれの内容が適切なものかについて分析すること。	
○ 図書館、実験・実習工場等の利用に関するガイダンスの実施について分析すること。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。	
■満たしていると判断する	
□満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 教育を実施する上でのガイダンスをどのような対象に対して実施しているか。（該当する選択肢にチェック■する。） ■学科生 ■専攻科生 □編入学生 ■留学生 □障害のある学生 □社会人学生 □その他	◇実施状況がわかる資料 資料3-2-①-(1)-1 (P225) 「図書館の利用に関するガイダンスの実施がわかる資料」 資料3-2-①-(1)-2 (P227) 「教育を実施するうえで専攻科入学生に対して行うガイダンス実施状況について示した資料」 資料3-2-①-(1)-3 (P228) 「教育を実施するうえで専攻科入学生に対して行うガイダンス内容について示した資料」 資料3-2-①-(1)-4 (P229) 「新入生に対する始業式後のガイダンス(オリエンテーション)の実施状況」 資料3-2-①-(1)-5 (P230) 「本科生へのガイダンス(厚生補導)を示す資料」 資料3-2-①-(1)-6 (P231) 「留学生へのガイダンスを示す資料」 編入学生については、平成24年度以降いなかったため、実施状況に関する資料は無い。編入学生がいた場合は、担任を中心として新入生と同様なガイダンスを個別に行う。社会人学生も同様である。障害のある学生についてはガイダンスではなく、障害の内容や程度に合わせて個別に対応することとなる(ノートテイクの導入など)。

	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>観点3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (1)の相談・助言体制については、学生への周知状況（刊行物、プリント、ウェブサイト等の該当箇所。）についても分析すること。</p> <p>○ 相談・助言体制やニーズ把握の仕組みが機能しているかを確認するため、それぞれの体制の利用状況や、ニーズを把握するための仕組みについて分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制を整備しているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■担任制・指導教員制の整備</p> <p>■オフィスアワーの整備</p> <p>■対面型の相談受付体制の整備</p> <p>□電子メールによる相談受付体制の整備</p> <p>■ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備</p> <p>■資格試験・検定試験等の支援体制の整備</p> <p>■外国への留学に関する支援体制の整備</p> <p>□その他</p>	<p>◇チェックした選択肢に関する状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-②-(1)-1 (P232)</p> <p>「担任制・指導教員制の整備状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(1)-2 (P233)</p> <p>「対面型の相談受付体制の整備状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(1)-3 (P234)</p> <p>「ICTを活用した成績確認に関するシステム整備状況が分かる資料」</p> <p>資料3-2-②-(1)-4 (P235)</p> <p>「資格試験・検定試験等の支援体制の整備状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(1)-5 (P240)</p> <p>「外国への留学に関する支援体制」</p> <p>資料3-2-②-(1)-6 (P242)</p> <p>「オフィスアワーの整備状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(1)-7 (P43)</p> <p>「1～3年生を対象として実施している「学習支援ミーティング」の実施内容を示す資料」(再掲)</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>

<p>(2) (1)は、学生に利用されているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用されている</p> <p><input type="checkbox"/> 利用されていない</p>	<p>◇各種相談助言体制の利用状況（実績・相談対応例等）がわかる資料</p> <p>資料3-2-②-(2)-1 (P243)</p> <p>「対面型の相談受付体制の利用状況がわかる資料」</p> <p>◇利用状況等の実績がわかる資料</p> <p>資料3-2-②-(2)-2 (P246)</p> <p>「資格試験・検定試験等の利用状況の実績がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(2)-3 (P247)</p> <p>「外国への留学に関する支援体制の利用状況の実績がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(2)-4 (P248)</p> <p>「資格試験・検定試験等の支援体制が明記されている資料」</p>
<p>(3) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生との懇談会</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意見投書箱</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇制度がわかる資料</p> <p>資料3-2-②-(3)-1 (P232)</p> <p>「担任制・指導教員制の導入が分かる資料」（再掲）</p> <p>資料3-2-②-(3)-2 (P233)</p> <p>「学生との懇談会がわかる資料」（再掲）</p> <p>資料3-2-②-(3)-3 (P249)</p> <p>「意見箱が設置されていることがわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(4) (3)は、有効に機能しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 機能している</p> <p><input type="checkbox"/> 機能していない</p>	<p>◇制度の機能状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-②-(4)-1 (P251)</p> <p>「担任制・指導教員制の制度の機能状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(4)-2 (P252)</p> <p>「学生との懇談会の制度の機能状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-②-(4)-3 (P253)</p> <p>「意見箱の制度の機能状況がわかる資料」</p>
<p>観点3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 障害者差別解消法への対応については、学校独自の取組のほか、設置法人が当該学校を対象として対応しているものについても、資料として提示すること。</p>	

<p>○ (10)については、必須入力欄ではないことに留意し、該当する取組が行われている場合のみ、「行っている」にチェック■し、右欄にそれに関して記述すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>教育基本法第4条第2項（教育の機会均等） 障害者差別解消法第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）及び第7条（行政機関等における障害を理由とする差別の禁止）又は第8条（事業者における障害を理由とする差別の禁止）第9条～11条</p> <p>※障害者差別解消法とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成二十五年法律第六十五号）」の略称のこと。</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇整備状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(1)-1 (P254)</p> <p>「留学生の学習及び生活に対する支援体制がわかる資料」</p>
<p>(2) (1)の体制において、留学生の支援を必要に応じて行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇留学生を支援する取組（留学生指導教員の配置、留学生チューターの配置等）がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(2)-1 (P255)</p> <p>「留学生指導教員の配置がわかる資料」</p> <p>資料3-2-③-(2)-2 (P256)</p> <p>「留学生チューターの配置がわかる資料」</p> <p>◇支援の実施状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(2)-3 (P257)</p> <p>「留学生用の日本語授業時間割がわかる資料」</p> <p>資料3-2-③-(2)-4 (P258)</p> <p>「長期留学生を支援する手続きがわかる資料」</p>
<p>(3) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇整備状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(3)-1 (P259)</p> <p>「阿南高専におけるサポート体制（イメージ図）」</p>
<p>(4) (3)の体制において、編入学生の支援を必要に応じて行っているか。</p> <p>□行っている</p> <p>■行っていない</p>	<p>◇編入学生を支援する取組がわかる資料</p> <p>編入学生を支援する体制はあるが、平成25年度以降は編入学生が在学していないため、支援を実施していない。</p> <p>◇入学前の指導を行っている場合には、指導スケジュール、指導内容等が記載された資料</p>

	<p>◇入学後に補習授業や学習相談等を行っている場合には、実施状況及びその内容（担当教員、実施科目、対象者別実施回数、使用教材等。）</p> <p>◇支援の実施状況がわかる資料</p>
<p>(5) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇整備状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(5)-1 (P259)</p> <p>「阿南高専におけるサポート体制（イメージ図）」（再掲）</p>
<p>(6) (5)の体制において、社会人学生の支援を必要に応じて行っているか。</p> <p>□行っている</p> <p>■行っていない</p>	<p>◇社会人学生を支援する取組（情報提供（電子メール、ウェブサイト等。))がわかる資料</p> <p>社会人学生を支援する体制はあるが、社会人学生が在学していないため、支援を実施していない。</p> <p>◇社会人学生に対する学習相談の制度が把握できる資料（オフィスアワー一覧表、配付プリントの該当箇所等。）</p> <p>◇支援の実施状況がわかる資料</p>
<p>(7) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇整備状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(7)-1 (P259)</p> <p>「阿南高専におけるサポート体制（イメージ図）」（再掲）</p>
<p>(8) (7)の体制において、障害のある学生の支援を必要に応じて行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇障害のある学生を支援する取組（ノートテーカー、チューターの配置）がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(8)-1 (P260)</p> <p>「障害のある学生を支援する取組が明記されている資料」</p> <p>資料3-2-③-(8)-2 (P261)</p> <p>「障害のある学生への対応事例」</p> <p>◇支援の実施状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(8)-2 (P261)</p> <p>「障害のある学生への対応事例」（再掲）</p>

<p>(9) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条(第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。)に対応しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対応している</p> <p><input type="checkbox"/> 対応していない</p>	<p>◇対応状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-③-(9)-1 (P196)</p> <p>「障害学生への支援(バリアフリー)を示す資料」(再掲)</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2017/06/barriermap.pdf</p>
<p>(10) 上記以外の特別な支援を行っているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない</p>	<p>◆左記について、該当する取組があれば、資料を基に記述する。</p> <p>毎週月・火・木曜日に看護師資格を有する学寮指導員(非常勤)を雇用し、18時から21時の間、学生寮において寮生の体調管理とあわせ相談に応じている。寮生の悩みなどについては、寮務主事や寮務係に報告され、必要に応じて学生相談室と連携して対応している。(資料3-2-③-(10)-1, P262「学寮指導員による支援」)</p>
<p>観点3-2-④ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令 (法)第12条 学校保健安全法第8条、第13条</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制に関し、どのように整備しているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生相談室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保健センター</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 相談員やカウンセラーの配置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ハラスメント等の相談体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生に対する相談の案内等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 奨学金</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 授業料減免</p> <p><input type="checkbox"/> 特待生</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急時の貸与等の制度</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇それぞれの体制の整備状況がわかる資料(生活指導の体制、指導内容、組織図、関連規程、委員会等。)</p> <p>資料3-2-④-(1)-1 (P263)</p> <p>「保健室・学生相談室の利用方法の周知を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-2 (P265)</p> <p>「学生相談室規則を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-3 (P266)</p> <p>「学生相談専門委員会規則を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-4 (P267)</p> <p>「ハラスメント防止に関する規則を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-5 (P268)</p> <p>「学生相談室リーフレットを示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-6 (P269)</p> <p>「各種奨学金説明会の案内(学生向け)を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-7 (P270)</p> <p>「就学支援金の制度紹介を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(1)-8 (P271)</p> <p>「授業料免除申請の案内を示す資料」</p>

	<p>資料3-2-④-(1)-9 (P272) 「担任教員の業務の一部を示す資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(2) 健康診断及び健康相談・保健指導を定期的に行っているか。</p> <p>■実施している □実施していない</p>	<p>◇各取組の実施状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-④-(2)-1 (P273) 「定期健康診断実施計画表を示す資料」</p> <p>資料3-2-④-(2)-2 (P275) 「保健指導例を示す資料」</p>
<p>(3) (2)以外で、(1)の体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されているか。</p> <p>■利用されている □利用されていない</p>	<p>◇相談実績（相談・対応例）、各体制に係る委員会等の実施状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-④-(3)-1 (P276) 「相談実績を示す資料」</p> <p>◇奨学金等の状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-④-(3)-2 (P277) 「奨学金貸与・受給状況を示す資料」</p>
<p>観点3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談を行っている場合には、担当教員、受講者数、実施科目、対象者別実施回数、使用教材、配布プリント等、概要がわかる資料を根拠資料として提示すること。また、資格試験・検定試験の受験者数、合格者数等の実績から機能しているかを分析すること。</p> <p>○ 資格取得による単位修得の認定を行っている場合には、関連規程、単位認定実績等を根拠資料として提示すること。</p> <p>○ 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等を行っている場合には、内容が把握できる資料や関連規程、留学実績等を根拠資料として提示すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備しているか。</p> <p>■整備している □整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-⑤-(1)-1 (P278) 「キャリア教育の体制の整備に係る規定等がわかる資料」</p>

<p>(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■キャリア教育に関する研修会・講演会の実施</p> <p>■進路指導用マニュアルの作成</p> <p>■進路指導ガイダンスの実施</p> <p>■進路指導室</p> <p>■進路先(企業)訪問</p> <p>■進学・就職に関する説明会</p> <p>□資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談</p> <p>■資格取得による単位修得の認定</p> <p>■外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等</p> <p>□その他</p>	<p>◇左記でチェック■した取組状況がわかる資料</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-1 (P280)</p> <p>「キャリア教育に関する研修会・講演会の実施がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-2 (P281)</p> <p>「進路指導用マニュアルの作成がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-3 (P282)</p> <p>「進学指導ガイダンスの実施がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-4 (P283)</p> <p>「キャリア支援室の配置状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-5 (P284)</p> <p>「進路先(企業)訪問がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-6 (P286)</p> <p>「進学に関する説明会の実施状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-7 (P287)</p> <p>「就職に関する説明会の実施状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-8 (P288)</p> <p>「外国留学に関する手続きの支援がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-9 (P289)</p> <p>「外国留学に関する単位認定がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(2)-10 (P290)</p> <p>「交流協定の締結がわかる資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) (2)の取組が機能しているか。</p> <p>■機能している</p> <p>□機能していない</p>	<p>◇それぞれの取組の(活用)実態がわかる資料</p> <p>資料3-2-⑤-(3)-1 (P291)</p> <p>「キャリア教育に関する研修会・講演会の取組の実態がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(3)-2 (P293)</p> <p>「キャリア支援室の利用状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(3)-3 (P294)</p> <p>「進路先(企業)訪問状況がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(3)-4 (P297)</p> <p>「進学に関する説明会の取組の実態がわかる資料」</p> <p>資料3-2-⑤-(3)-5 (P298)</p> <p>「就職に関する説明会の取組の実態がわかる資料」</p>

	資料3-2-⑤-(3)-6 (P300) 「資格取得による単位修得の認定の取組がわかる資料」
観点3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	
【留意点】なし。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない	◇課外活動に関する規程、組織図、施設の整備状況がわかる資料 資料3-2-⑥-(1)-1 (P301) 「学生会組織図を示す資料」 資料3-2-⑥-(1)-2 (P302) 「AED設置箇所を示す資料」 資料3-2-⑥-(1)-3 (P303) 「クラブ活動安全管理申し合わせ事項を示す資料」
(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっているか。 ■なっている □なっていない	◇(1)の体制において、責任の所在がわかる資料 資料3-2-⑥-(2)-1 (P304) 「クラブ同好会顧問を示す資料」 資料3-2-⑥-(2)-2 (P305) 「体育系クラブの立ち会い一覧を示す資料」 資料3-2-⑥-(2)-3 (P306) 「危機管理マニュアル（抜粋）を示す資料」
(3) 学校としての支援活動の内容からみて、(1)の体制が機能しているか。 ■機能している □機能していない	◇課外活動に対する支援活動の内容がわかる資料 資料3-2-⑥-(3)-1 (P309) 「救急救命講習会開催案内を示す資料」 資料3-2-⑥-(3)-2 (P310) 「部活動支援のためのスポーツ科学講習会を示す資料」 資料3-2-⑥-(3)-3 (P311) 「クラブ顧問会議の開催を示す資料」
観点3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の間として有効に機能しているか。	
【留意点】なし。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない <input type="checkbox"/> 学生寮を整備していないので、該当しない（→この場合は、(1)以下の記入は不要）	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学生寮を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇整備状況がわかる資料 資料3-2-⑦-(1)-1 (P312) 「学生寮の整備状況がわかる資料」
(2) 生活の場として整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇生活支援の内容がわかる資料（談話室、補食室等の整備状況等。） 資料3-2-⑦-(2)-1 (P313) 「生活支援の内容がわかる資料」
(3) 勉学の場として整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇学習支援の内容がわかる資料（自習室の整備状況、自習時間の設定状況等の整備面での工夫等。） 資料3-2-⑦-(3)-1 (P317) 「学習支援の内容がわかる資料」
(4) (2)(3)について、有効に機能しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 機能している <input type="checkbox"/> 機能していない	◇入寮状況がわかる資料 資料3-2-⑦-(4)-1 (P320) 「入寮状況がわかる資料」 ◇勉学の場としての活用実績がわかる資料 資料3-2-⑦-(4)-2 (P321) 「勉学の場としての活用実績がわかる資料」
(5) 管理・運営体制を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇学生寮の管理規程等の資料 資料3-2-⑦-(5)-1 (P323) 「学生寮の管理規程等の資料」
3-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	

基準3

優れた点
該当なし

改善を要する点
該当なし

基準4 財務基盤及び管理運営

<p>評価の視点</p> <p>4-1 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。</p>	
<p>観点4-1-① 学校の目的に沿った教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 学校の目的に沿った教育研究活動を安定して遂行できるよう校地、校舎等の資産を保有しているか、経常的な収入が確保できているか、債務超過や支出超過の状態がある場合、運営上問題とならないものか等の状況について分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第27条の2</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 過去5年間の貸借対照表等による財務状態は適切な状況となっているか。</p> <p>■なっている</p> <p>□なっていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇過去5年間の貸借対照表等の財務諸表</p> <p>資料4-1-①-(1)-1 (p.326)</p> <p>「過去5年間の財務諸表を見ることができるWEBサイト」</p> <p>http://www.kosen-k.go.jp/disclosure.html</p> <p>資料4-1-①-(1)-2 (P327)</p> <p>「過去5年間の阿南工業高等専門学校貸借対照表」</p> <p>資料4-1-①-(1)-3 (P330)</p> <p>「過去5年間の阿南工業高等専門学校損益計算書」</p> <p>◇長期未払金、長期借入金がある場合は、その内容を確認できる資料</p> <p>資料4-1-①-(1)-4 (P334)</p> <p>「長期未払金、長期借入金の内容を確認できる資料」</p> <p>資料4-1-①-(1)-5 (P335)</p> <p>「長期未払金が電子計算機システムリースであることがわかる資料」</p> <p>◇臨時利益又は臨時損失が計上されている場合は、その内容が確認できる資料</p> <p>資料4-1-①-(1)-6 (P336)</p> <p>「臨時利益、臨時損失が計上されている内容が確認できる資料」</p>

<p>(2) 校地、校舎等の資産を保有しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保有している</p> <p><input type="checkbox"/> 保有していない</p>	<p>◇その内容を確認できる資料</p> <p>資料4-1-①-(2)-1 (P337)</p> <p>「校地、校舎等の資産を保有していることが確認できる資料(1/2)」</p> <p>資料4-1-①-(2)-2 (P338)</p> <p>「校地、校舎等の資産を保有していることが確認できる資料(2/2)」</p>
<p>(3) 過去5年間に於いて運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の経常的な収入を確保しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 確保している</p> <p><input type="checkbox"/> 確保できない年があった</p>	<p>◇過去5年間の運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の収入状況</p> <p>資料4-1-①-(3)-1 (P339)</p> <p>「過去5年間に経常的な収入を確保していることが確認できる資料」</p> <p>◆確保できない年があった場合は、実状を踏まえて、資料を基に記述する。</p>
<p>(4) 過去5年間の収支状況において支出超過となっていないか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 支出超過となっていない</p> <p><input type="checkbox"/> 支出超過となった年があった</p>	<p>◇過去5年間の資金収支計算書及び消費収支計算書</p> <p>資料4-1-①-(4)-1 (P330)</p> <p>「過去5年間の収支状況において支出超過となっていないことがわかる資料」(再掲)</p> <p>◆支出超過となった年があった場合は、実状を踏まえて、資料を基に記述する。</p>
<p>観点4-1-② 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 収支に係る方針、計画等を策定しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 策定している</p> <p><input type="checkbox"/> 策定していない</p>	<p>◇収支に係る方針や計画策定に関する予算関連規程等</p> <p>資料4-1-②-(1)-1 (P340)</p> <p>「収支に係る方針、計画等の策定に関する予算関連規程の資料」</p>

	<p>◇予算配分や収支に係る方針、計画等がわかる資料 資料4-1-②-(1)-2 (P340) 「予算配分や収支に係る方針、計画等がわかる資料」(再掲)</p>
<p>(2) (1)を関係者(教職員等)へ明示しているか。 ■明示している □明示していない</p>	<p>◇予算の関係者(教職員等)への明示状況を把握できる資料 資料4-1-②-(2)-1 (P342) 「収支に係る方針、計画について関係者に明示していることがわかる資料」</p>
<p>観点4-1-③ 学校の目的を達成するため、教育研究活動(必要な施設・設備の整備を含む)に対しての資源配分を、学校として適切に行う体制を整備し、行っているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予算配分の方針が定められ、その方針に則り実際の予算配分が行われているか、プロセス(手続きの流れ)の適切性も含めて分析すること。 ○ 予算の配分状況と、その実績(執行状況)を対比させて分析すること。 ○ 校長裁量経費等の重点配分経費の配分基準等の策定状況(手続き、経路、決定機関等。)についても併せて分析すること。 	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第27条の2</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校の目的を達成するために、教育研究活動に対して適切な資源配分を決定する際、明確なプロセスに基づいて行っているか。 ■行っている □行っていない</p>	<p>◇予算配分実績(教育経費、研究経費、施設設備費の配分実績) 資料4-1-③-(1)-1 (P343) 「予算配分実績がわかる資料」</p> <p>◇校長裁量経費等の重点配分経費を設定している場合は、その資源配分が把握できる資料 資料4-1-③-(1)-2 (P134) 「校長裁量経費等の予算配分がわかる資料」(再掲) 資料4-1-③-(1)-3 (P344) 「重点配分経費を設定していることがわかる資料」</p> <p>◇予算関連規程等 資料4-1-③-(1)-4 (P340)</p>

	<p>「資源配分を決定する際の予算関連規程の資料」(再掲)</p> <p>◇予算配分に係る審議状況がわかる資料(議事録等) 資料4-1-③-(1)-5(P342) 「予算配分に係る審議状況がわかる資料」(再掲)</p> <p>◇施設・設備の整備計画の全体像がわかる資料(学内全体のマスタープラン等。) 資料4-1-③-(1)-6(P345) 「施設・設備の整備計画を策定していることがわかる資料(1/2)」 資料4-1-③-(1)-7(P346) 「施設・設備の整備計画を策定していることがわかる資料(2/2)」</p>
<p>(2) 資源配分が、4-1-②の収支に係る方針、計画と整合性を有しているか。</p> <p>■整合性がある □整合性がない</p>	<p>◆資源配分と収支に係る方針、計画との整合性、執行状況との対応について、資料を基に記述する。その際、資源配分の決定プロセスの整合性についても言及する。</p> <p>本校の中期計画及び年度計画を実現するべく毎年策定する学内予算配分方針(資料4-1-③-(2)-1, P340「収支に係る方針、計画等の策定に関する予算関連規程の資料」(再掲))に基づき当初予算案を作成し、運営委員会等で審議・承認を経て学内予算配分を行っている。執行については予算配分を受けた者による管理はもとより、財務管理システムにより総務課で一元管理しており、収入実績・見込み及び支出実績・見込みを考慮しながら適正かつ計画的な執行に努めている。</p>
<p>(3) 資源配分の内容について、関係者(教職員等)に明示しているか。</p> <p>■明示している □明示していない</p>	<p>◇予算の関係者(教職員等)への明示状況を把握できる資料 資料4-1-③-(3)-1(P342) 「資源配分の内容について関係者に明示していることがわかる資料(1/2)(再掲)」 資料4-1-③-(3)-2(P347) 「資源配分の内容について関係者に明示していることがわかる資料(2/2)」</p>
<p>観点4-1-④ 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。</p>	
<p>【留意点】</p>	

<p>○ 設置者の説明責任を果たすという観点から、財務書類の公表状況について分析すること。</p> <p>○ 会計監査の実施状況についても分析すること。</p>	
関係法令	<p>独立行政法人通則法第 38 条、第 39 条 私立学校法第 47 条 私立学校振興助成法第 14 条 その他財務諸表に関する各種法令等 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令第 12 条 その他情報公開に関する法令等、それぞれの設置形態別に定められた法令 私立学校法第 37 条第 3 項 私立学校振興助成法第 14 条第 3 項 地方自治法第 199 条 その他会計監査等に関する各種法令等</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 設置者は、法令等に基づき、財務諸表等を作成・公表しているか。</p> <p>■作成・公表している</p> <p>□作成・公表していない</p>	<p>◇作成・公表状況がわかる資料</p> <p>資料 4-1-④- (1) - 1 (P348)</p> <p>「設置者が法令等に基づき、財務諸表等を作成・公表していることがわかる資料」</p> <p>http://www.kosen-k.go.jp/disclosure.html</p>
<p>(2) 財務に係る監査等を実施しているか。</p> <p>■実施している</p> <p>□実施していない</p>	<p>◇学内会計監査規程（科学研究費助成事業等の外部資金に関する監査規程も含む。）</p> <p>資料 4-1-④- (2) - 1 (P349)</p> <p>「財務に係る監査を実施していることがわかる資料」</p> <p>◇外部監査、学内監査の監査報告書、国立高等専門学校の場合は、国立高等専門学校間の相互監査報告書</p> <p>資料 4-1-④- (2) - 2 (P350)</p> <p>「外部監査を実施していることがわかる資料」</p> <p>資料 4-1-④- (2) - 3 (P351)</p> <p>「学内監査を実施していることがわかる資料」</p> <p>資料 4-1-④- (2) - 4 (P352)</p> <p>「高専間の相互監査を実施していることがわかる資料」</p>
<p>4-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>本校の予算については、運営委員会等で協議し、それに基づき予算を配分し、予算の範囲内で執行を行っている。支出については、財務会計システムで一元管理されている。</p>	
<p>評価の視点</p> <p>4-2 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。</p>	
<p>観点 4-2-① 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動して</p>	

いるか。	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点 2-1-③の教育に係る組織等を除き、管理運営に係る体制について、分析すること。</p> <p>○ 組織図については、観点 2-1-③の教育に係る組織等を含む、学校全体の教育研究及び管理運営全体がわかるものの提示が望ましい。</p> <p>○ 議事録又は議事要旨等については、過去 1 年分提示すること。</p>	
関係法令	(法)第 120 条第 3 項 (施)第 175 条 (設)第 10 条
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇管理運営に関する諸規程、整備状況がわかる資料</p> <p>資料 4-2-①-(1)-1 (P353)</p> <p>「管理運営体制に関する規程等を整備していることがわかる資料」</p>
<p>(2) 委員会等の体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇諸規程、整備状況がわかる資料 (組織図等)</p> <p>資料 4-2-①-(2)-1 (P356)</p> <p>「委員会等の体制を整備していることがわかる資料」</p> <p>資料 4-2-①-(2)-2 (P359)</p> <p>「委員会の体制を表す図」</p>
<p>(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。</p> <p>■なっている</p> <p>□なっていない</p>	<p>◇役割分担がわかる資料</p> <p>資料 4-2-①-(3)-1 (P360)</p> <p>「校長、主事等の役割分担が明確になっていることがわかる資料」</p>
<p>(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇規程等、整備状況がわかる資料</p> <p>資料 4-2-①-(4)-1 (P362)</p> <p>「事務組織の体制を規程等に基づき整備していることがわかる資料」</p>
<p>(5) (1)～(4)の体制の下、効果的な活動を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇活動状況がわかる資料 (会議の開催回数、議事録等。)</p> <p>資料 4-2-①-(5)-1 (P365)</p> <p>「主な委員会等の開催回数を明示した表」</p> <p>資料 4-2-①-(5)-2 (P366)</p> <p>「参加会の活動状況がわかる資料」</p> <p>資料 4-2-①-(5)-3 (P371)</p> <p>「校長補佐会議の活動状況がわかる資料」</p>

	<p>資料4-2-①-(5)-4 (P376) 「運営委員会の活動状況がわかる資料」</p> <p>資料4-2-①-(5)-5 (P422) 「教員会議の活動状況がわかる資料」</p> <p>資料4-2-①-(5)-6 (P434) 「人事委員会の活動状況がわかる資料」</p>
<p>観点4-2-② 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇規程等、整備状況がわかる資料</p> <p>資料4-2-②-(1)-1 (P436) 「責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備していることを示した危機管理規則」</p> <p>資料4-2-②-(1)-2 (P417) 「責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備していることを示した防災規則」</p>
<p>(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇危機管理マニュアル等の資料</p> <p>資料4-2-②-(2)-1 (P438) 「危機管理マニュアル」</p>
<p>(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇訓練や講習会等の実施状況がわかる資料</p> <p>資料4-2-②-(3)-1 (P469) 「危機に備えた活動として防災訓練を実施していることがわかる資料」</p> <p>資料4-2-②-(3)-2 (P470) 「危機に備えた活動として学寮の防災訓練を実施していることがわかる資料」</p> <p>資料4-2-②-(3)-3 (P471) 「危機に備えた活動として安否確認訓練を実施していることがわかる資料」</p> <p>資料4-2-②-(3)-4 (P472) 「危機に備えた活動として防災研修会を実施していることがわかる資料」</p>

観点4-2-③ 外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	
【留意点】 ○ 過去5年間の外部資金について、明確な獲得方策（獲得のための取組。）を有するか、十分な獲得実績があるか等について、分析すること。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 外部の財務資源（科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等）を積極的に受入れる取組を行っているか。 ■行っている □行っていない	◇過去5年間の科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等、外部の財務資源の受入れへの取組及び受入実績に関する資料 資料4-2-③-（1）-1（P474） 「外部資金の受入状況を示す資料」 資料4-2-③-（1）-2（P475） 「科学研究費補助金の獲得状況を示す資料」 資料4-2-③-（1）-3（P476） 「外部資金獲得推進のための取り組みがわかる資料」
(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。 ■整備されている □整備されていない	◇管理体制がわかる資料（規程等） 資料4-2-③-（2）-1（P477） 「科学研究費補助金等の取扱を定めた要項」 資料4-2-③-（2）-2（P478） 「寄附金の取扱を定めた細則」 資料4-2-③-（2）-3（P479） 「共同研究の取扱を定めた細則」 資料4-2-③-（2）-4（P480） 「受託研究の取扱を定めた細則」 資料4-2-③-（2）-5（P481） 「技術相談の取扱を定めた細則」 資料4-2-③-（2）-6（P482） 「公的研究費等の取扱を定めた細則」 資料4-2-③-（2）-7（P483） 「内部会計監査を定めた規則」 資料4-2-③-（2）-8（P484） 「物品管理事務の取扱を定めた規則」 資料4-2-③-（2）-9（P485） 「補助金等の受領前使用に係る立替えに関する物品管理事務の取扱を定めた要項」

<p>観点4-2-④ 外部の教育資源を積極的に活用しているか。</p> <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等専門学校の教育研究の基盤としての、地域や同窓会等を中心とする外部教育資源、又は退職技術者を含む企業人等の教育研究的資源の活用について分析すること。 ○ 「社会とともに次世代の技術者を育成する」協働教育の理念を実践する活動例について分析すること。 ○ 財務的資源については、観点4-2-③で分析し、ここでは教育資源、研究的資源について分析すること。 ○ 提示する資料の例としては、次のものを想定している。(全ての取組を求めているものではない。) ・ 高等教育機関の間で締結している学生・教員交流等、外部の機関の持つ教育力の活用例の資料(協定等を含む。) ・ 産学連携関係の共同研究や共同教育の実施例の資料 ・ 地域や同窓会等の有識者や経験者による授業、実習、課外活動等の指導支援に関する資料 ・ 地域にある教育設備(図書館、博物館等。)、体育施設の利用及び支援がわかる資料 ・ 地域の催事等を含む地域社会との交流体験実施例の資料 	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>(1) 外部の教育・研究資源を活用しているか。</p> <p>■活用している</p> <p>□活用していない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇活用状況がわかる資料</p> <p>資料4-2-④-(1)-1 (P486)</p> <p>「徳島大学理工学部との教育・研究に関する協定の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-2 (P487)</p> <p>「徳島大学における受講要領の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-3 (P488)</p> <p>「大阪大学と教育研究交流に関する状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-4 (P489)</p> <p>「ドイツのオストファリア、オスナブリュック応用科学大学との学術交流に関する状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-5 (P490)</p> <p>「共同研究契約状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-6 (P491)</p> <p>「材料工学(日亜化学)講座<寄附講座>の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-7 (P472)</p> <p>「四国地区高専との連携・交流事業に伴う特別講義日程が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-8 (P493)</p>

	<p>「外部有識者（ノーベル賞受賞者）による教職員・学生に向けた講演の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-9 (P494)</p> <p>「SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）との連携事業に伴う研修講師派遣の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-10 (P495)</p> <p>「寮生を対象とした特別講演の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-11 (P496)</p> <p>「外部講師を活用した教職員研修の状況が明記されている資料(1/2)」</p> <p>資料4-2-④-(1)-12 (P472)</p> <p>「外部講師を活用した教職員研修の状況が明記されている資料(2/2)（再掲）」</p> <p>資料4-2-④-(1)-13 (P497)</p> <p>「本校での留学生研究受入に関する状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-14 (P498)</p> <p>「留学生の受入状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-15 (P499)</p> <p>「ソノマ州立大学との教育連携状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-16 (P500)</p> <p>「外部資金獲得に関する講習会への外部講師の召集状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-17 (P501)</p> <p>「阿南市インキュベーションセンターの状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-18 (P502)</p> <p>「外部コーチへの依頼状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-19 (P503)</p> <p>「阿南市立図書館と連携協力の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-20 (P504)</p> <p>「市町村連携による地域振興の状況が明記されている資料」</p> <p>資料4-2-④-(1)-21 (P505)</p> <p>「地域の催事等を含む地域社会との交流体験実施の状況が明記されている資料」</p>
--	--

<p>観点4-2-⑤ 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組（スタッフ・ディベロップメント）が組織的に行われているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ ファカルティ・ディベロップメントに関連した教育の質の向上や授業の改善に関する教育支援者に対する取組は観点2-4-③で分析するため、ここでは、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）への取組を分析すること。</p> <p>○ SDとは、事務職員等のほか、教授等の教員や校長等の執行部に対し、教育研究活動等の効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるための研修（管理運営等の研修）のことをいう。</p>	
関係法令	(設)第10条の2
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) SD等を実施しているか。</p> <p>■実施している</p> <p>□実施していない</p>	<p>◇規程等の資料</p> <p>資料4-2-⑤- (1) - 1 (P506)</p> <p>「SDに関する規則を整備したことがわかる資料」</p> <p>◇実施状況（参加状況等）がわかる資料</p> <p>資料4-2-⑤- (1) - 2 (P507)</p> <p>「SDの実施状況（参加状況等）がわかる資料」</p>
<p>4-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p> <p>4-3 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。</p>	
<p>観点4-3-① 学校における教育研究活動等の状況についての情報（学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。）が公表されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 高等専門学校の教育研究活動の状況や、その活動の成果に関する情報を、わかりやすい表現やアクセスしやすい手段を用いて、社会に発信しているか分析すること。</p>	
関係法令	(施)第172条の2、(施)第165条の2、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）22文科高第236号平成22年6月16日
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 教育情報を法令に従い適切に公表しているか。（該当する選択肢にチェック■する。） <input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第 165 条の 2 第 1 項の規定により定める方針 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織 <input checked="" type="checkbox"/> 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 <input checked="" type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画 <input checked="" type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たったの基準 <input checked="" type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 <input checked="" type="checkbox"/> 授業料、入学金その他の高等専門学校が徴収する費用 <input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	◇刊行物の該当箇所がわかる資料 資料 4-3-①-(1)-1 (P509) 「教育研究活動等の情報を適切に公表していることを示した学校要覧」 資料 4-3-①-(1)-2 (P510) 「教育研究活動等の情報を適切に公表していることを示した College Guide」 資料 4-3-①-(1)-3 (P511) 「教育研究活動等の情報を適切に公表していることを示した高専生活のてびき」 資料 4-3-①-(1)-4 (P514) 「教育研究活動等の情報を適切に公表していることを示した技術の光」 資料 4-3-①-(1)-5 (P515) 「教育研究活動等の情報を適切に公表していることを示した研究報告書」 ◇【別添】ウェブサイト掲載項目チェック表
(2) 特に、高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第 165 条の 2 第 1 項の規定により定める方針について、学校内の構成員への周知を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	◇周知状況がわかる資料 資料 4-3-①-(2)-1 (P516) 「教育上の目的及び学校教育法施行規則第 165 条の 2 第 1 項で定められている方針について委員会等で教員等に周知していることがわかる資料」 資料 4-3-①-(2)-2 (P518) 「教育上の目的及び学校教育法施行規則第 165 条の 2 第 1 項で定められている方針について HP 上で教員等に周知していることがわかる資料」 http://www.anan-nct.ac.jp/introduction/information-draft/
4-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	

基準 4

優れた点
<p>本校の目的を達成するための財源確保並びに予算の重点配分を行い、適正かつ計画的な執行に対する努力を行っている。</p> <p>多様化する業務に対応するため、校長、副校長、各種委員会等の役割を適切に配置し、効果的な活動を行っている。</p> <p>外部の教育資源の積極的な活用については、海外を含む高等教育機関との教育連携等を積極的に行い、それらの活動状況や成果に関する情報発信を刊行物やホームページで行っている。</p>
改善を要する点
該当なし

基準5 準学士課程の教育課程・教育方法

<p>評価の視点</p> <p>5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。</p>	
<p>観点5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点1-2-②の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた授業科目の配置となっているか分析すること。</p>	
<p>関係法令 (設)第15条、第16条、第17条、第17条の2</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。</p> <p>■配置している</p> <p>□配置していない</p>	<p>◇カリキュラム一覧表、授業科目系統図等の授業科目配置状況がわかる資料</p> <p>資料5-1-①-(1)-1 (P519)</p> <p>「平成30年度カリキュラム一覧表」</p> <p>資料5-1-①-(1)-2 (P525)</p> <p>「平成30年度副専門に関する科目一覧」</p> <p>資料5-1-①-(1)-3 (P526)</p> <p>「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているかが明記されている資料」</p> <p>資料5-1-①-(1)-4 (P88)</p> <p>「ディプロマポリシーに記述されている『普遍的に有用性を持つ能力』とそれを育成する科目の対応表」（再掲）</p> <p>資料5-1-①-(1)-5 (P89)</p> <p>「ディプロマポリシーに記述されている『専門分野に固有の知識・技術』とそれを育成する科目の対応表」（再掲）</p>
<p>(2) 一般教育の充実に配慮しているか。</p> <p>■配慮している</p> <p>□配慮していない</p>	<p>◇配慮していることがわかる資料</p> <p>資料5-1-①-(2)-1 (P532)</p> <p>「英語のネイティブスピーカーによる授業（英会話・2年）のシラバス」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0017&year=2017</p> <p>資料5-1-①-(2)-2 (P534)</p> <p>「プレゼンテーションについて学習する授業（日本語総</p>

	<p>合・3年)のシラバス」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0024&year=2016 資料5-1-①-(2)-3 (P535) 「ものづくりに関する調査を行う授業(倫理・1年)のシラバス https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0008&year=2018</p>
<p>(3) 進級に関する規定を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない</p>	<p>◇進級に関する規定の整備状況がわかる資料 資料5-1-①-(3)-1 (P537) 「進級に関する規定」</p>
<p>(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 確保している <input type="checkbox"/> 確保していない</p>	<p>◇35週が確保されている状況が確認できる資料(学年暦、時間割等。) 資料5-1-①-(4)-1 (P538) 「1年間の授業を行う期間を35週確保していることが分かる資料」</p>
<p>(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない</p>	<p>◇特別活動の実施状況がわかる資料(時間割等。) 資料5-1-①-(5)-1 (P539) 「特別活動に関する規定」 資料5-1-①-(5)-2 (P540) 「特別活動の活動状況が分かる資料」</p>
<p>観点5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 例えば、国際的に活躍できる技術者の養成が目的に含まれる場合には、外国語の伝達と読解の基礎能力育成について分析するなど、目的や卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして授業科目の内容の工夫を行っているか分析すること。</p> <p>○ この観点では教育課程の編成について分析するものであり、正規の教育課程とは別に実施しているもの(例えば、補習や補講等)は、この観点の対象ではないことに留意すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第19条、第20条</p>
<p>観定の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観定の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	

自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■他学科の授業科目の履修を認定 ■インターンシップによる単位認定 ■正規の教育課程に関わる補充教育の実施 ■専攻科課程教育との連携 ■外国語の基礎能力（聞く、話す、読む、書く）の育成 ■資格取得に関する教育 ■他の高等教育機関との単位互換制度 ■個別の授業科目内での工夫 ■最先端の技術に関する教育 □その他 	<p>◇チェックした配慮項目に関して、実施状況がわかる資料</p> <p>資料5-1-②-(1)-1 (P525) 「平成30年度副専門に関する科目一覧」（再掲）</p> <p>資料5-1-②-(1)-2 (P541) 「インターンシップに関する要項（平成30年度）」</p> <p>資料5-1-②-(1)-3 (P6542) 「インターンシップ（4年）に関するシラバス」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=09&subject_id=0043&year=2015</p> <p>資料5-1-②-(1)-4 (P544) 「補充教育の例（測量合宿：建設コース3年）」</p> <p>資料5-1-②-(1)-5 (P546) 「準学士課程教育と専攻科課程教育との連携が示されている資料（1/2）」</p> <p>資料5-1-②-(1)-6 (P549) 「準学士課程教育と専攻科課程教育との連携が示されている資料（2/2）」</p> <p>資料5-1-②-(1)-7 (P551) 「外国語の基礎能力育成に関する資料（国際交流室の活動について）」</p> <p>資料5-1-②-(1)-8 (P552) 「社会からの要請等によりネイティブスピーカーによる授業を実施していることを示す資料」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0017&year=2017</p> <p>資料5-1-②-(1)-9 (P554) 「資格取得に関する教育が明記されている資料」</p> <p>資料5-1-②-(1)-10 (P556) 「TOEICに関する内容を扱う授業（英語の語彙・文法（4年）のシラバス」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0039&year=2015</p> <p>資料5-1-②-(1)-11 (P557) 「TOEICに係る単位認定について示されている資料」</p> <p>資料5-1-②-(1)-12 (P558) 「教育課程修了後の資格一覧について示されている資料」</p>

	<p>資料5-1-②-(1)-13 (P564) 「他大学等との単位互換制度に関する規定」</p> <p>資料5-1-②-(1)-14 (P565) 「徳島大学理工学部との単位互換制度に関する資料」</p> <p>資料5-1-②-(1)-15 (P566) 「個別の授業科目内での工夫が明記されている資料」</p> <p>資料5-1-②-(1)-16 (P567) 「個別の授業科目内での工夫の例(就職や進学に向けて:日本語総合)」</p> <p>資料5-1-②-(1)-17 (P568) 「最先端の技術に関する教育が明記されている資料」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。</p> <p>■適切に取り扱っている</p> <p>□適切に取り扱っていない</p> <p>□単位互換制度を設けていないので、該当しない</p>	<p>◇単位互換制度の内容がわかる資料</p> <p>資料5-1-②-(2)-1 (P564) 「他大学等との単位互換制度に関する規定」(再掲)</p> <p>資料5-1-②-(2)-2 (P565) 「徳島大学理工学部との単位互換制度に関する資料」(再掲)</p>
<p>観点5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 創造力を育む教育方法の工夫がわかる資料には、PBL型の授業や創造型の演習等における具体的な教育方法の工夫がわかる資料を提示すること。</p> <p>○ 創造力を育む教育方法の工夫については、学校としてどう捉え、どう展開しているかを踏まえて分析すること。</p> <p>○ 実践力を育む教育方法の工夫がわかる資料には、インターンシップの活用等の具体的な教育方法の工夫がわかる資料を提示すること。</p> <p>(注) PBLとは、プロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、知識の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法のこと。Problem-based Learning 又は Project-based Learning の略。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。</p>	<p>◇創造力を育む教育方法の工夫がわかる資料(PBL型の</p>

<p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>授業や創造型の演習の実施等)</p> <p>資料5-1-③-(1)-1 (P572)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(1/4)(ニュースポーツの作成・体育(2年))」</p> <p>資料5-1-③-(1)-2 (P573)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(2/4)(共同教育(4年))」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=14&subject_id=0004&year=2015</p> <p>資料5-1-③-(1)-3 (P575)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(3/4)(商品開発実習(機械コース4年))」</p> <p>資料5-1-③-(1)-4 (P566)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(4/4)(商品開発実習の成果(機械コース4年))」(再掲)</p> <p>◇実施状況がわかる資料</p> <p>資料5-1-③-(1)-5 (P572)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(1/4)(ニュースポーツの作成・体育(2年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(1)-6 (P573)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(2/4)(共同教育(4年))」(再掲)</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=14&subject_id=0004&year=2015</p> <p>資料5-1-③-(1)-7 (P575)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(3/4)(商品開発実習(機械コース4年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(1)-8 (P566)</p> <p>「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(4/4)(商品開発実習の成果(機械コース4年))」(再掲)</p> <p>◆工夫を行った結果、学生が創造力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。</p> <p>必修授業「共同教育」(4年)において、複数コース学生によるチームを構成し、問題発見・解決のPBL学修を行っている(資料5-1-③-(1)-2, P573「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(2/4)(共同教育(4</p>
------------------------------	--

	<p>年))」(再掲))。各チームに配した教員は主としてコーチに徹し、学生による主体的学修としている。これは、従来の学修では取り扱わなかった視点や発想に基づくものである。</p> <p>また、機械工学実験1の授業において創造力を発揮し成果を挙げたので、四国キャンパスベンチャーグランプリでは優秀賞1件、佳作2件、機械学会デザインコンテストでは最優秀賞と優秀賞をそれぞれ受賞した(資料5-1-③- (1)-3, P575「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(3/4)(商品開発実習(機械コース4年))」(再掲)、資料5-1-③- (1)-4, P566「創造力を育む教育方法の工夫及び実施状況(4/4)(商品開発実習の成果(機械コース4年))」(再掲))。</p>
<p>(2) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない</p>	<p>◇実践力を育む教育方法の具体的な工夫がわかる資料(インターンシップの実施等。)</p> <p>資料5-1-③- (2)-1 (P576)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(1/6)(コーオペ教育)」</p> <p>資料5-1-③- (2)-2 (P544)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(2/6)(測量合宿(建設コース3年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③- (2)-3 (P577)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(3/6)(インターンシップ(4年))」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=09&subject_id=0043&year=2015</p> <p>資料5-1-③- (2)-4 (P580)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(4/6)(機械製図(機械コース2年))」</p> <p>資料5-1-③- (2)-5 (P581)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(5/6)(成果や効果(機械コース))」</p> <p>資料5-1-③- (2)-6 (P573)</p> <p>「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(6/6)(共同教育(4年))」(再掲)</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=14&subject_id=0004&year=2015</p>

	<p>資料5-1-③-(2)-7 (P582) 「実践力を育むことを目的とした授業(4年共同教育)における製作物」</p> <p>◇実施状況がわかる資料</p> <p>資料5-1-③-(2)-8 (P576) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(1/6)(コーポ教育)」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(2)-9 (P544) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(2/6)(測量合宿(建設コース3年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(2)-10 (P577) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(3/6)(インターンシップ(4年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(2)-11 (P580) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(4/6)(機械製図(機械コース2年))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(2)-12 (P581) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(5/6)(成果や効果(機械コース))」(再掲)</p> <p>資料5-1-③-(2)-13 (P573) 「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(6/6)(共同教育(4年))」(再掲)</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=14&subject_id=0004&year=2015</p> <p>資料5-1-③-(2)-14 (P582) 「実践力を育むことを目的とした授業(4年共同教育)における製作物」(再掲)</p> <p>◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。</p> <p>必修授業「共同教育」(4年)において、複数コース学生によるチームを構成し、問題発見・解決のPBL学修を行っている(資料5-1-③-(2)-6, P573「実践力を育む教育方法の工夫及び実施状況(6/6)(共同教育(4年)(再掲))」。各チームに配した教員は主としてコーチに徹し、学生による主体的学修としている。平成29年度の成果の一例として「学生目線な中学生への学校紹介」がある(資料5-1-③-(2)-7, P582「創造力・実践</p>
--	---

	<p>力を育むことを目的とした授業（4年共同教育）における製作物」（再掲）。これは、学生らが主体的に取り組んだ実践の成果である。</p>
<p>5-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p>	
<p>5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。</p>	
<p>観点5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>（設）第17条の2</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。</p> <p>■採用されている</p> <p>□採用されていない</p>	<p>◇授業形態の開講状況（バランスを含む。）がわかる資料 資料5-2-①-（1）-1（P583） 「授業形態の開講状況のバランスが適切であることがわかる資料」</p> <p>◆授業形態のバランスが適切であることについて、資料を基に記述する。 1年次は講義78%、演習・実験・実習22%、2年生は講義85%、演習・実験・実習15%、3年生は講義80%、演習・実験・実習20%、4年生は講義75%、演習・実験・実習25%、5年生は講義60%、演習・実験・実習40%とし、演習等の比率を高める編成としている。『実践的かつ創造的な技術者』の育成において、講義で理解した知識を演習等において定着させ、かつ、それを活用できる能力として修得させるため、このような編成としている。（資料5-2-①-（1）-1、P583「授業形態の開講状況のバランスが適切であることがわかる資料」（再掲）</p>
<p>(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫に</p>	<p>◇チェックした項目の実施状況がわかる資料</p>

<p>は、どのような工夫があるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■教材の工夫</p> <p>■少人数教育</p> <p>■対話・討論型授業</p> <p>■フィールド型授業</p> <p>■情報機器の活用</p> <p>■基礎学力不足の学生に対する配慮</p> <p>■一般科目と専門科目との連携</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>資料5-2-①-(2)-1 (P584)</p> <p>「教材の工夫の例 (自作テキスト (日本語総合))」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0007&year=2018</p> <p>資料5-2-①-(2)-2 (P586)</p> <p>「対話・討論型授業の例 (日本語の表現 (5年))」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0041&year=2014</p> <p>資料5-2-①-(2)-3 (P587)</p> <p>「フィールド型授業の例 (測量実習2 (建設コース3年))」</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=12&subject_id=0008&year=2016</p> <p>資料5-2-①-(2)-4 (P589)</p> <p>「情報機器の活用例: LMS 上でのレポート課題 (英語講読 (専攻科2年))」</p> <p>資料5-2-①-(2)-5 (P590)</p> <p>「教材の工夫, 少人数教育, 対話・討論型授業, 情報機器の活用が明記されている資料 (1/2)」</p> <p>資料5-2-①-(2)-6 (P593)</p> <p>「教材の工夫, 少人数教育, 対話・討論型授業, 情報機器の活用が明記されている資料 (2/2)」</p> <p>資料5-2-①-(2)-7 (P595)</p> <p>「基礎学力不足の学生に対する配慮の例 (数学補習)」</p> <p>資料5-2-①-(2)-8 (P596)</p> <p>「一般科目と専門科目との連携の例 (教育連携ミーティング)」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>観点5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第17条、第17条の3</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p>	

<input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■授業科目名</p> <p>■単位数</p> <p>■授業形態</p> <p>■対象学年</p> <p>■担当教員名</p> <p>■達成目標</p> <p>■教育方法</p> <p>■教育内容（1 授業時間ごとに記載）</p> <p>■成績評価方法・基準</p> <p><input type="checkbox"/> 事前に行う準備学習</p> <p>■高等専門学校設置基準第 17 条第 3 項の規定に基づく授業科目か、4 項の規定に基づく授業科目かの区別の明示</p> <p>■教科書・参考文献</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇シラバスの作成要領や具体例等の左記内容がわかる資料</p> <p>資料 5-2-②-(1)-1 (P597) 「シラバス作成要領」</p> <p>資料 5-2-②-(1)-2 (P598) 「シラバス具体例（1 年：数学 A）」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=01&subject_id=0002&year=2018</p> <p>資料 5-2-②-(1)-3 (P599) 「カリキュラム・ポリシーを踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているかが明記されている資料」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=09&subject_id=0001&year=2017</p> <p>資料 5-2-②-(1)-4 (P88) 「ディプロマ・ポリシーに記述されている『普遍的に有用性を持つ能力』とそれを育成する科目の対応表」（再掲）</p> <p>資料 5-2-②-(1)-5 (P89) 「ディプロマ・ポリシーに記述されている『専門分野に固有の知識・技術』とそれを育成する科目の対応表」（再掲）</p> <p>◆その他の項目にチェックした場合は、具体的な内容（項目）を記述する。</p>
<p>(2) 教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。</p> <p>■改善を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 改善を行っていない</p>	<p>◇活用状況がわかる資料</p> <p>資料 5-2-②-(2)-1 (P600) 「シラバス活用状況について（例：授業評価アンケート）」</p> <p>◆改善を行った事例があれば、改善内容について、資料を基に記述する。</p> <p>授業評価アンケートにより、学生・教員がシラバスを活用していることがわかる。同じくアンケートにより、同授業における到達度を点検し、授業の改善及び学生の学習に資するものとしている。</p>

	<p>同授業は、その改善等の継続により、十分満足できるレベルに達したものである。(資料5-2-②-(2)-1, P600「シラバス活用状況について(例:授業評価アンケート)」(再掲))</p>
<p>(3) 設置基準17条第3項の30単位時間授業では1単位当たり30時間を確保しているか。</p> <p>■確保している □確保していない</p>	<p>◇状況が確認できる資料(学年暦、時間割等。)</p> <p>資料5-2-②-(3)-1 (P601) 「30時間を確保していることが分かる資料(1/2)(年間行事予定表)」</p> <p>資料5-2-②-(3)-2 (P603) 「30時間を確保していることが分かる資料(2/2)(前学期授業時間割・後学期授業時間割)」</p>
<p>(4) (3)の30単位時間授業では、1単位時間を50分としているか。</p> <p>□1単位時間=50分で規定・運用 ■1単位時間=50分で規定、45分で運用</p>	<p>◆1単位時間を50分以外で運用している場合は、標準50分に相当する教育内容を確保していることについて、学校の現状を踏まえ、資料を基に記述する。</p> <p>2時間連続の90分授業により、次の授業効率化により100分相当となっている。(資料5-2-②-(4)-1, P604「2時間連続の90分授業をしていることがわかる資料」)</p> <p>A)出席確認を、1回分省略できる。 B)前回授業の振り返りを、1回分省略できる。 C)効果的なインストラクショナルデザインができる。</p>
<p>(5) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示しているか。</p> <p>■明示している □明示していない</p>	<p>◇シラバス集、履修要項等の明示状況がわかる資料</p> <p>資料5-2-②-(5)-1 (P605) 「学修単位科目のシラバス例(4年:デジタル回路1)」 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSyllabus?school_id=38&department_id=11&subject_id=0052&year=2015</p>
<p>(6) (5)の履修時間の実質化のための対策としてどのような方策を講じているか。(該当する選択肢にチェックする。)</p> <p>■授業外学習の必要性の周知 □事前学習の徹底 ■事後展開学習の徹底 ■授業外学習の時間の把握 □その他</p>	<p>◇チェックした方策の具体的な内容がわかる資料</p> <p>資料5-2-②-(6)-1 (P606) 「授業外学習に関する規則がわかる資料」</p> <p>資料5-2-②-(6)-2 (P607) 「自学自習時間を明記した課題を提出させていることがわかる資料」</p> <p>資料5-2-②-(6)-3 (P608) 「授業外学習時間を把握している資料(4年:デジタル回路1・点票)」</p>

	◆その他の項目にチェックした場合は、具体的な内容を記述する。
5-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	
評価の視点 5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	
観点5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	
【留意点】なし。	
関係法令	(設)第17条の3
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、策定しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 策定している <input type="checkbox"/> 策定していない	◇成績評価や単位認定に関する規程等の該当箇所 資料5-3-①-(1)-1 (P609) 「成績評価や単位認定に関する規定」 資料5-3-①-(1)-2 (P610) 「単位の種別や授業の種類等について説明していることを示す資料」
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることがわかる資料 資料5-3-①-(2)-1 (P612) 「成績評価が適切に実施されているかを確認していることがわかる資料」
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握している	◇学校として把握していることがわかる資料 資料5-3-①-(3)-1 (P613) 「学校としての自学自習時間の把握状況が分かる資料(1/2)」 資料5-3-①-(3)-2 (P614)

<input type="checkbox"/> 把握していない	「学校としての自学自習時間の把握状況が分かる資料(2/2)」
(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 周知している <input type="checkbox"/> 周知していない	◇周知を図る取組の内容(学生の手引きへの掲載、ウェブサイトでの明示等。)がわかる資料 資料5-3-①-(4)-1 (P615) 「成績評価や単位認定に関する基準を示している資料」
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない	◇認知状況がわかる資料 資料5-3-①-(5)-1 (P616) 「自学自習時間の評価がシラバス記載通り行われていることを学校として把握していることがわかる資料」 資料5-3-①-(5)-2 (P617) 「学生の認知状況を把握した結果を示す資料」
(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	◇追試、再試の成績評価の規程等がわかる資料 資料5-3-①-(6)-1 (P618) 「追試、再試の成績評価の規定がわかる資料」
(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	◇成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会の規程等がわかる資料 資料5-3-①-(7)-1 (P619) 「成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会に関する資料(成績確認 HR)」
(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。(該当する選択肢にチェック■する。) <input type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック <input checked="" type="checkbox"/> 答案の返却 <input checked="" type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示 <input type="checkbox"/> GPAの進級判定への利用 <input type="checkbox"/> 成績分布のガイドラインの設定 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック <input checked="" type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック <input type="checkbox"/> その他	◆実施状況や成績分布を踏まえて、成績評価や単位認定における基準の客観性・厳格性を担保するための措置が、有効に機能しているかどうかについて、資料を基に記述する。 答案返却、模範解答や採点基準の提示、複数年次に渡る同一試験問題出題がないことの確認、試験問題レベルの適切さの確認を組織的に行っており、成績評価一覧表を含む成績評価に関わる資料を体制として資料保存している。(資料5-3-①-(8)-1, P620「答案返却期間」、資料5-3-①-(8)-2, P621「模範解答例(1年:基礎数学1)」、資料5-3-①-(8)-3, P612「定期試験の質保証確認票」(再掲)、資料5-3-①-(8)-4, P28「成績資料の保管方法を周知していることを示す資料」(再掲)) ◆その他の項目にチェックした場合は、具体的な内容を記

	述する。
<p>観点5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第117条 (設)第17条第3~6項、第17条の2、第17条の3、第18条、第19条、第20条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学則等に、修業年限を5年（商船に関する学科は5年6月。）と定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇学則等の該当箇所がわかる資料</p> <p>資料5-3-②-(1)-1 (P622)</p> <p>「学則に修業年限を5年と定めている資料」</p>
<p>(2) 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業認定基準を定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇定めている該当規程や卒業認定基準</p> <p>資料5-3-②-(2)-1 (P623)</p> <p>「卒業認定基準を定めている資料」</p> <p>資料5-3-②-(2)-2 (P624)</p> <p>「卒業に関する規定を定めている資料」</p> <p>資料5-3-②-(2)-3 (P625)</p> <p>「卒業の認定に関する規定を定めている資料」</p> <p>資料5-3-②-(2)-4 (P88)</p> <p>「ディプロマポリシーに記述されている『普遍的に有用性を持つ能力』とそれを育成する科目の対応表」(再掲)</p> <p>資料5-3-②-(2)-5 (P89)</p> <p>「ディプロマポリシーに記述されている『専門分野に固有の知識・技術』とそれを育成する科目の対応表」(再掲)</p>
<p>(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。</p> <p>■認定している</p> <p>□認定していない</p>	<p>◇関係する委員会等の会議資料</p> <p>資料5-3-②-(3)-1 (P626)</p> <p>「卒業判定会議において卒業の可否を認定するために用いる資料(1/2)」</p> <p>資料5-3-②-(3)-2 (P627)</p> <p>「卒業判定会議において卒業の可否を認定するために用いる資料(2/2)」</p>
<p>(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。</p> <p>■周知している</p>	<p>◇周知を図る取組の内容（学生の手引きへの掲載、ウェブサイトでの明示等。）がわかる資料</p>

<input type="checkbox"/> 周知をしていない	資料5-3-②-(4)-1 (P623) 「卒業認定基準を定めている資料」(再掲)
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握をしていない	◇学生の認知状況を把握していることがわかる資料 資料5-3-②-(5)-1 (P617) 「学生の認知状況を把握した結果を示す資料」(再掲)
5-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	

基準5

優れた点
教育課程の体系的編成や内容・水準を確認するため授業の質保証点検システムおよび試験の質保証点検システムを運用している。また、共同教育により創造的かつ実践的な教育を行っている。その他、副専門授業(専門分野とは異なる分野に関する授業)を実施することにより1学科5コース制の特色を生かしている。
改善を要する点
該当なし

基準6 準学士課程の学生の受入れ

<p>評価の視点</p> <p>6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。</p>	
<p>観点6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 合否判定基準については、提示できるものがあれば、提示すること。自己評価書での提示が不可能な場合は、訪問調査時に提示すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第3条の2</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等。）、面接内容、配点・出題方針等。）となっているか。</p> <p>■なっている</p> <p>□なっていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇入学者選抜要項、面接要領、合否判定基準、入学試験実施状況等がわかる資料</p> <p>資料6-1-①-（1）-1（P93）</p> <p>「準学士課程全体として定めているアドミッション・ポリシー」（再掲）</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/entrance_exam/about_anan/3policies/</p> <p>資料6-1-①-（1）-2（P628）</p> <p>「準学士課程のアドミッションポリシー（編入学生）」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/entrance_exam/about_anan/3policies/</p> <p>資料6-1-①-（1）-3（P629）</p> <p>「準学士入学選抜方法（推薦）」</p> <p>資料6-1-①-（1）-4（P630）</p> <p>「準学士入学選抜方法（学力）」</p> <p>資料6-1-①-（1）-5（P631）</p> <p>「準学士入学選抜方法（帰国生徒特別選抜）」</p> <p>資料6-1-①-（1）-6（P632）</p> <p>「準学士入学選抜方法（編入学生）」</p>
<p>観点6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p>	

<input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇検証する体制に関する資料 資料6-1-②-(1)-1 (P633) 「入学者受入れに関する方針に沿った学生を実際に受入れているかどうか検証する体制に関する資料」 ◇改善に役立てる体制に関する資料 資料6-1-②-(1)-2 (P634) 「入学者受入れに関する方針に沿った学生を実際に受入れているかどうか改善に役立てる体制に関する資料」
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿っているかどうかの検証を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	◇検証を行っていることがわかる資料 資料6-1-②-(2)-1 (P635) 「実際に入学した学生が入学者の受入れに関する方針に沿っているかどうかの検証を行っていることがわかる資料」
(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善に役立てている <input type="checkbox"/> 改善に役立てていない	◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果を改善に役立てている状況について、資料を基に記述する。 推薦による選抜検査について、数学と英語の面接評価と入学後の両科目との相関を検証し、検査方法を改定した（資料6-1-②-(3)-1, P637「検証の結果を入学者選抜の改善に役立てている資料(1/2)」）。また、広報情報室が中学校進路指導担当者等から聴取した「評価基準の明確化」の要望を考慮し、評価基準を明示した。（資料6-1-②-(3)-2, P638「検証の結果を入学者選抜の改善に役立てている資料(2/2)」）
観点6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	
【留意点】 ○ (2)の体制の整備は、必ずしもこの取組に特化した組織を整備することを求めているのではなく、既存の委員会に対応することとしている場合には、当該委員会に関する規定の所掌において定員と実入学者数との関係の把握と必要な改善のための取組が明示されていることを分析すること。 ○ (3)の入学定員に対する入学者数は、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準に照らして、分析すること。	

関係法令	(設)第4条の2、第5条第2項 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準(平成15年3月31日文科科学省告示第45号)
<p>観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として、学則で定めているか。 ■定めている □定めていない	◇学則の該当箇所 資料6-1-③-(1)-1(P639) 「学生定員に関する規則」
(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない	◇体制の整備に係る規程等がわかる資料 資料6-1-③-(2)-1(P640) 「体制の整備に係る規定等がわかる資料」
(3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。 ■適正である □超過又は不足がある	◇【別添】平均入学定員充足率計算表
(4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。 □行っている □行っていない ■過去5年間で大幅に超過、大幅に不足していないので、該当しない	◆大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合には、該当する学科について、実入学者数の改善に資する取組や教育環境等の改善により教育等に支障が生じないように取った対応等、実際に行った事例がわかる資料を基に記述する。
<p>6-1 特記事項 この評価の観点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
該当なし	

基準6

優れた点
該当なし
改善を要する点
該当なし

基準7 準学士課程の学習・教育の成果

<p>評価の視点</p> <p>7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。</p>	
<p>観点7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 学生の成績（卒業時のGPA値等。）や原級留置の状況、単位修得率（登録授業単位数に対する修得単位数の率。）等、成果を総合的に分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料7-1-①-(1)-1 (P641)</p> <p>「教務委員会が卒業に関する事項を審議する委員会であることを示す資料」</p> <p>資料7-1-①-(1)-2 (P642)</p> <p>「卒業の認定は卒業・進級判定会議の議を経て校長が行うことを示す資料」</p>
<p>(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。</p> <p>■把握・評価している</p> <p>□把握・評価していない</p>	<p>資料7-1-①-(1)-3 (P643)</p> <p>「卒業・進級判定会議が卒業判定に関する審議を行う会議であることを示す資料」</p>
<p>(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>◇成績評価・卒業認定等に関するデータ・資料</p> <p>資料7-1-①-(2)-1 (P644)</p> <p>「成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価していることを示す資料」</p> <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>資料7-1-①-(2)-2 (P645)</p> <p>「卒業・進級判定会議規則に基づき卒業生判定会議を開催していることを示す資料」</p> <p>◆左記(2)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p> <p>ディプロマ・ポリシーにもとづくカリキュラム・ポリシーに則った授業において、評価基準を明示した成績評価を行っている。評価はシラバスにルーブリック評価基準を明示し、学生と共有している。これら授業について、高等専門</p>

	<p>学校設置基準が示す 167 単位の修得を確認し、卒業を認定している（資料 7-1-①-（2）- 1, P644「成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価していることを示す資料」（再掲））。平成 29 年度学生は 152 名のうち 151 名の卒業が認定されたことから（休学者除く）、学習・教育の成果が認められた。</p>
<p>観点 7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (1)の体制の整備が、観点 7-1-①と同じ体制で実施されている場合には、観点 7-1-①と同じ資料となる。</p> <p>○ (2)(3)(4)は、観点 1-1-③で分析している種々の評価結果の一部と同一のものであるため、内容の整合性に留意して分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料 7-1-②-（1）- 1（P641）</p> <p>「教務委員会が卒業に関する事項を審議する委員会であることを示す資料」（再掲）</p> <p>資料 7-1-②-（1）- 2（P642）</p> <p>「卒業の認定は卒業・進級判定会議の議を経て校長が行うことを示す資料」（再掲）</p>
<p>(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>資料 7-1-②-（1）- 3（P643）</p> <p>「卒業・進級判定会議が卒業判定に関する審議を行う会議であることを示す資料」（再掲）</p>
<p>(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生（卒業後 5 年程度経った者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇意見聴取の結果に関するデータ・資料</p> <p>資料 7-1-②-（2）- 1（P50）</p> <p>「卒業時の学生に行った意見聴取の集計結果を示す資料」（再掲）</p> <p>資料 7-1-②-（2）- 2（P49）</p>
<p>(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>「卒業生・修了生に向けて行った意見聴取（卒業生・修了生アンケート）の設問例を示す資料」（再掲）</p> <p>資料 7-1-②-（3）- 1（P57）</p> <p>「本科を卒業した学生の就職先企業に向けて実施した学修成果に関するアンケートを示す資料」（再掲）</p>
<p>(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められ</p>	

<p>るか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>認められる</p> <p><input type="checkbox"/>認められない</p>	<p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>資料7-1-②-(4)-1 (P646)</p> <p>「卒業生を含めた学生による授業評価により自己点検・評価が行われたことを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/jikotenkenhyoka (H26.11.pdf)</p> <p>◆左記(2)～(4)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p> <p>ディプロマ・ポリシーにおける身に付けるべき学修成果に対して、就職先企業の評価は「あまりそう思わない」および「全くそう思わない」がほとんどないことから、学習・教育の成果が認められる。(資料7-1-②-(5)-1 (P54)「卒業生および就職先企業に向けて行った意見聴取の集計結果を示す資料」(再掲))</p>
<p>観点7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第122条 (施)第178条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/>満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>認められる</p> <p><input type="checkbox"/>認められない</p>	<p>◇【別添】卒業生進路実績表</p> <p>◆就職率・進学率や就職先等から、養成しようとする人材像にかなった成果が得られているかどうかについて、資料を基に記述する。</p>
<p>(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なっている</p> <p><input type="checkbox"/>なっていない</p>	<p>平成29年度の就職・進学率は100%である。就職先は製造業や建設業、電気・ガスなどのインフラ産業、情報通信関係の企業等であり、また進学先の多くは工学系大学や学部である。(資料7-1-③-(2)-1 (P647)「就職先や進学先が各学科の養成しようとする人材像に適していることを示す資料(1/2)」、資料7-1-③-(2)-2 (P648)「就職先や進学先が各学科の養成しようとする人材像に適していることを示す資料(2/2)」) 従って、各学科が養成しようとする人材像にかなった成果が得られている。</p>

7-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。
該当なし

基準7

優れた点
進学率、就職率（希望者に対する割合）は非常に高い。就職先は、製造業や建設業、電気・ガスなどのインフラ産業、情報通信関係の企業等が主であり、また進学先の多くは学科の専門分野に関連した工学系の大学や専攻科である。
改善を要する点
該当なし

基準 8 専攻科課程の教育活動の状況

<p>評価の視点</p> <p>8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。</p>	
<p>観点 8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点 1-2-⑤の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた授業科目の配置となっているか分析すること。</p> <p>○ 本評価書 I (1) 4. において、特例適用専攻科又は J A B E E 認定プログラムについて記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>本校は JABEE の基準 2 の 2.1（教育課程の設計）を含めて認定されていることにより、本観点を満たしていると判断する。なお、JABEE 認定審査における基準 2 の 2.1 の判定結果は A である。</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。</p> <p>□配置している</p> <p>□配置していない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇カリキュラム一覧表、授業科目系統図等の授業科目配置状況がわかる資料</p>
<p>観点 8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書 I (1) 4. において、特例適用専攻科又は J A B E E 認定プログラムについて記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	

<p>(根拠理由欄)</p> <p>本校は JABEE の基準 2 (教育手段) を含めて認定されていることにより、本観点を満たしていると判断する。なお、JABEE 認定審査における基準 2 の判定結果は、2.5 (1) を除き全て A である。2.5 (1) は一部の実験室・実験施設の安全面に対する指摘により C の判定結果であったが、指摘事項の速やかな改善および改善報告書の提出により、既に了承が得られている。</p>	
自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 専攻科の教育課程は、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 考慮している</p> <p><input type="checkbox"/> 考慮していない</p>	◇連携及び発展等の考慮状況がわかる資料
<p>観点 8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書 I (1) 4. において、JABEE 認定プログラムについて記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	
<p>(根拠理由欄)</p> <p>本校は JABEE の基準 2 (教育手段) を含めて認定されていることにより、本観点を満たしていると判断する。前述のとおり、JABEE 認定審査における基準 2 の判定結果は、2.5 (1) を除き全て A である。2.5 (1) は一部の実験室・実験施設の安全面に対する指摘により C の判定結果であったが、指摘事項の速やかな改善および改善報告書の提出により、既に了承が得られている。</p>	
自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) に基づき、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 採用されている</p> <p><input type="checkbox"/> 採用されていない</p>	<p>◇授業形態の開講状況 (バランスを含む。) がわかる資料</p> <p>◆授業形態のバランスが適切であることについて、資料を基に記述する。</p>
<p>(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input type="checkbox"/> 教材の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 少人数教育</p> <p><input type="checkbox"/> 対話・討論型授業</p>	<p>◇チェックした項目の実施状況がわかる資料</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>

<input type="checkbox"/> フィールド型授業 <input type="checkbox"/> 情報機器の活用 <input type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮 <input type="checkbox"/> 一般科目と専門科目との連携 <input type="checkbox"/> その他	
<p>観点 8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 教養教育の実施状況や学生の研究指導が、学校教育法上の目的及び学校の教育の目的を達成する上で適切なものであるかどうかを分析すること。</p> <p>○ 本評価書 I (1) 4. において、特例適用専攻科について記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法) 第 119 条第 2 項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>特例適用専攻科の審査において、学修総まとめ科目を担当する教員の個人調書（様式第 3 号等）を提出し認定されたことから、本観点を満たしていると判断する。なお、認定専攻科の教育の実施状況等の審査においても、専攻科の授業科目を担当する教員の個人調書（様式第 5 号等）を提出し認定されている。</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生への教養教育や研究指導を、適切に行っているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っている</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない</p>	<p>◇教養教育や研究指導の実施状況がわかる資料</p>
<p>観点 8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書 I (1) 4. において、J A B E E 認定プログラムについて記載した場合は、その評価結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	

<p>(根拠理由欄)</p> <p>本校はJABEEの基準2の2.1(教育課程の設計)および、基準3(学習・教育到達目標の達成)を含めて認定されていることにより、本観点を満たしていると判断する。なお、JABEE認定審査における基準2の2.1および、基準3の判定結果は全てAである。</p>	
自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、策定しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>策定している</p> <p><input type="checkbox"/>策定していない</p>	◇成績評価や単位認定に関する規定等の該当箇所
<p>(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。</p> <p><input type="checkbox"/>行っている</p> <p><input type="checkbox"/>行っていない</p>	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることがわかる資料
<p>(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input type="checkbox"/>把握していない</p>	◇学校として把握していることがわかる資料
<p>(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>周知している</p> <p><input type="checkbox"/>周知していない</p>	◇周知を図る取組の内容(学生の手引きへの掲載、ウェブサイトでの明示等。)がわかる資料
<p>(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>把握している</p> <p><input type="checkbox"/>把握していない</p>	◇認知状況がわかる資料
<p>(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。</p> <p><input type="checkbox"/>ある</p> <p><input type="checkbox"/>ない</p>	◇追試、再試の成績評価の規程等がわかる資料
<p>(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。</p> <p><input type="checkbox"/>ある</p> <p><input type="checkbox"/>ない</p>	◇成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会の規定等がわかる資料
<p>(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input type="checkbox"/>成績評価の妥当性の事後チェック</p> <p><input type="checkbox"/>答案の返却</p>	◆実施状況や成績分布を踏まえて、成績評価や単位認定における基準の客観性・厳格性を担保するための措置が、有効に機能しているかどうかについて、資料を基に記述する。

<input type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示 <input type="checkbox"/> GPAの進級判定への利用 <input type="checkbox"/> 成績分布のガイドラインの設定 <input type="checkbox"/> 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック <input type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック <input type="checkbox"/> その他	<p>◆その他の項目にチェックした場合は、具体的な内容を記述する。</p>
<p>観点8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p> <p>○ 本評価書I(1)4.において、JABEE認定プログラムについて記載した場合は、その評価結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第119条第2項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>本校はJABEEの基準1（学習・教育到達目標の設定と公開）および、基準3（学習・教育到達目標の達成）を含めて認定されていることにより、本観点を満たしていると判断する。なお、JABEE認定審査における基準1および、基準3の判定結果は全てAである。</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学則等に、修業年限を1年以上と定めているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 定めている <input type="checkbox"/> 定めていない</p>	<p>◇学則等の該当箇所がわかる資料</p>
<p>(2) 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、修了認定基準を定めているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 定めている <input type="checkbox"/> 定めていない</p>	<p>◇定めている該当規程や修了認定基準</p>
<p>(3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 認定している <input type="checkbox"/> 認定していない</p>	<p>◇関係する委員会等の会議資料</p>
<p>(4) 修了認定基準を学生に周知しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 周知している <input type="checkbox"/> 周知していない</p>	<p>◇周知を図る取組の内容（学生の手引きへの掲載、ウェブサイトでの明示等。）がわかる資料</p>
<p>(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握している</p>	<p>◇学生の認知状況を把握していることがわかる資料</p>

<input type="checkbox"/> 把握していない	
<p>8-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p> <p>特に専攻科課程の教育課程及び教育方法に関して、準学士課程の5-1及び5-2の内容を参考に、特記すべき個性や特色等があれば、自由に記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p> <p>8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。</p>	
<p>観点8-2-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 合否判定基準については、提示できるものがあれば、提示すること。自己評価書での提示が不可能な場合は、訪問調査時に提示すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等）、面接内容、配点・出題方針等）となっているか。</p> <p>■なっている</p> <p>□なっていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇入学者選抜要項、面接要領、合否判定基準、入学試験実施状況等がわかる資料</p> <p>資料8-2-①-（1）-1（P650）</p> <p>「入学者の受入れに関する方針に沿った適切な入学者選抜方法が実施されていることを示す資料」</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2018/01/h31_senkouka_boshu-1.pdf</p>
<p>観点8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。</p>	
<p>【留意点】 なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇改善のための体制に関する資料</p> <p>資料8-2-②-（1）-1（P651）</p> <p>「入学者選抜の改善に役立てる体制整備を示す資料」</p>

<p>(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿っているかどうかの検証を行っているか。</p> <p>■行っている □行っていない</p>	<p>◇検証を行った結果の資料 資料8-2-②-(2)-1 (P652) 「実際に入学した学生がアドミッション・ポリシーに沿っているか検証を行った結果を示す資料」</p>
<p>(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。</p> <p>■改善に役立てている □改善に役立てていない</p>	<p>◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果を改善に役立てている状況について、資料を基に記述する。</p> <p>学生支援ミーティングの結果、TOEIC以外の英語能力検定も加えて欲しかったとの意見が多かった。そこで、入学者選抜において、TOEICスコアに加え、英検取得級等も含めて評価することとし、検証の結果を改善に役立てている。(資料8-2-②-(3)-1, P653「入学者選抜の改善状況を示す資料」</p>
<p>観点8-2-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (2)の体制の整備は、必ずしもこの取組のためだけの組織を整備することを求めているのではなく、既存の委員会で対応することとなっている場合には、当該委員会に関する規定の所掌において定員と実入学者数との関係の把握と必要な改善のための取組が明示されていることを分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生定員を専攻ごとに学則等で定めているか。</p> <p>■定めている □定めていない</p>	<p>◇学則等の該当箇所 資料8-2-③-(1)-1 (P654) 「学生定員を専攻ごとに定めていることを示す資料」</p>
<p>(2) 専攻ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している □整備していない</p>	<p>◇体制の整備に係る規程等がわかる資料 資料8-2-③-(2)-1 (P655) 「専攻ごとの入学定員と実入学者数との関係把握と改善を図るための体制整備を示した資料」</p>
<p>(3) 過去5年間の専攻ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。</p> <p>■適正である □超過又は不足がある</p>	<p>◇【別添】平均入学定員充足率計算表 資料8-2-③-(3)-1 (P656) 「過去5年間の専攻ごとの定員充足率及び5年間の平均充足率を示した資料」</p>

<p>(4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p> <p>□過去5年間で大幅に超過、大幅に不足していないので、該当しない</p>	<p>◆大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合には、該当する専攻について、実入学者数の改善に資する取組や教育環境等の改善により教育等に支障が生じないように取った対応等、実際に行った事例がわかる資料を基に記述する。</p> <p>構造設計工学専攻では平成26年、27年に、電気・制御システム工学専攻では平成27年、28年に大幅な入学者数不足があったが、パンフレットの配布（資料8-2-③-（4）-1，P657「実入学者数の改善に資する取組として配布している専攻科を紹介するパンフレットに関する資料」）や本科生への説明（資料8-2-③-（4）-2，P658「実入学者数の改善に資する取組のうち本科生への説明に用いた資料」）によって、その後改善された（資料8-2-③-（4）-3，P656「過去5年間の専攻ごとの定員充足率及び5年間の平均充足率を示した資料」（再掲））。充足率が200%など高い年度もあるが、教室および研究室、実験室等の学習環境には余裕があり、専攻科学生の勉学・研究活動および学生生活に支障は出ていない。</p>
<p>8-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p>	
<p>8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。</p>	
<p>観点8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p>	
<p>○ 学生の成績（修了時のGPA値等。）や修業年限修了率、単位修得率（登録授業単位数に対する修得単位数の率。）等、成果を総合的に分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料8-3-①-（1）-1（P659）</p> <p>「専攻科運営委員会が専攻科の教育全般に関する事項を審議する委員会であることを示した資料」</p> <p>資料8-3-①-（1）-2（P660）</p>
<p>(2) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、</p>	<p>「専攻科の修了を審議するための会議の規則を示す資料」</p>

<p>成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価しているか。</p> <p>■把握・評価している</p> <p>□把握・評価していない</p>	<p>◇成績評価・修了認定等に関するデータ・資料</p> <p>資料 8-3-①-(1)-3 (P661)</p> <p>「専攻科の修了要件を示した資料」</p>
<p>(3) (2)の結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>資料 8-3-①-(1)-4 (P662)</p> <p>「本校の J A B E E プログラム『創造技術システム工学』の修了要件を示す資料」</p> <p>資料 8-3-①-(1)-5 (P663)</p> <p>「成績評価・修了認定の結果からの学習・教育・研究の成果把握・評価結果を示した資料」</p> <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>資料 8-3-①-(1)-6 (P664)</p> <p>「成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価していることを示した資料」</p> <p>◆左記(2)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育・研究の成果が認められることについて、資料を基に記述する。専攻科の修了要件が満たされたことをもって、学習・教育・研究の成果があったとしている(資料 8-3-①-(1)-7, P94)</p> <p>http://www.anan-nct.ac.jp/department/advanced/sen_d/p/</p> <p>「専攻科課程全体として定めているディプロマ・ポリシー」(再掲)。一方、J A B E E プログラムの修了要件は専攻科の修了要件に加えて学位の取得が必要である(資料 8-3-①-(1)-3, P661「専攻科の修了要件を示した資料」(再掲)、資料 8-3-①-(1)-4, P662「本校の J A B E E プログラム『創造技術システム工学』の修了要件を示す資料」(再掲))。したがって、J A B E E 成績表によって修了要件を満たしている(資料 8-3-①-(1)-5, P663「成績評価・修了認定の結果からの学習・教育・研究の成果把握・評価結果を示した資料」(再掲)、資料 8-3-①-(1)-6, P664「成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価していることを示した資料」(再掲))ことから、学習・教育・研究の成果が認められると判断する。</p>
<p>観点 8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	

<p>【留意点】</p> <p>○ (1)の体制の整備が、観点8-3-①と同じ体制で実施されている場合には観点8-3-①と同じ資料となる。</p> <p>○ (2)(3)(4)は、観点1-1-③で分析している種々の評価結果の一部と同一のものであるため、内容の整合性に留意して分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて、学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料8-3-②-(1)-1 (P665)</p> <p>「学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取結果に基づいて成果を把握・評価するための体制を示した資料」</p> <p>◇意見聴取の結果に関するデータ・資料</p>
<p>(2) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>資料8-3-②-(1)-2 (P666)</p> <p>「修了時の学生に対して意見聴取結果を行っていることを示した資料」</p> <p>資料8-3-②-(1)-3 (P667)</p> <p>「進路先関係者等からの意見聴取結果を示した資料」</p>
<p>(3) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生（修了直後でない者）に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>資料8-3-②-(1)-4 (P668)</p> <p>「学生への意見聴取結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を実施している事示した資料」</p>
<p>(4) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◆左記(2)～(4)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育・研究の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p>
<p>(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>修了時の学生（資料8-3-②-(1)-2, P666「修了時の学生に対して意見聴取結果を行っていることを示した資料」(再掲)）、専攻科修了生（資料8-3-②-(1)-5, P56「専攻科を修了した学生に対し実施した「JABEE修了生アンケート」の回答を示す資料」(再掲)）、および進路先関係者（資料8-3-②-(1)-3, P667「進路先関係者等からの意見聴取結果を示した資料」(再掲)）に対して行っている意見聴取の結果において、本校が設定した教育到達目標の基準を満たしていないとの回答が無いことから判断して、学習・教育・研究の成果が概ね認められると判断する。</p>

<p>観点 8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>◇【別添】修了者進路実績表</p> <p>資料 8-3-③-(1)-1 (P669)</p> <p>「最近5年間の就職先および進学先を示した資料」</p> <p>◆就職率・進学率や就職先等から、養成しようとする人材像にかなった成果が得られているかどうかについて、資料を基に記述する。</p> <p>就職希望の学生は、専攻に関連した製造業等の企業に就職しており、また進学希望の学生は理工系大学院へ入学している（資料 8-3-③-(1)-1, P669「最近5年間の就職先および進学先を示した資料」（再掲））。したがって、本校の養成しようとする人材像にかなった成果が得られていると判断する</p>
<p>(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。</p> <p>■なっている</p> <p>□なっていない</p>	
<p>観点 8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 学位の取得を目的としていない専攻科については、「□学位の取得を目的としていないので、該当しない」の欄をチェックすること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> <p>□学位の取得を目的としていないので、該当しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>◇学位取得状況がわかる資料</p> <p>資料 8-3-④-(1)-1 (P670)</p> <p>「過去5年間において全ての修了生が学位を取得していることを示す資料」</p>
<p>8-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	

阿南工業高等専門学校

本校の専攻科では、最長3ヶ月半のインターンシップ期間を設けている。その受け入れ先の中には海外の協定校があり、多くの学生が海外留学している。平成29年度はドイツへ2名、台湾へ4名、シンガポールへ2名、ベトナムへ1名、インドネシアへ2名、タイへ1名の学生が留学を行った。

基準8**優れた点**

専攻科を修了したほぼすべての学生は学位を取得し JABEE 修了生として、専攻分野に関連した企業または大学院へ就職または進学している。

改善を要する点

該当なし